

第5章 地区別の実施方針

1

都市部と農山村部における地域福祉推進の方向性

本市は都市部と農山村部の両方の特性を合わせ持っており、それぞれに必要な取組も異なっています。そのため、本計画において、都市部と農山村部で特に充実・強化して進めるべき取組を、次に示します。

(1) 都市部について

市民アンケートにおいて、「隣近所の人と生活上のちょっとした手助けや協力などの助け合いをしていますか」という問に対し、「している」割合が、都市部においては50%未満となっています。農山村部は、いずれの地域においてもこの割合が60%以上となっており、都市部において、地域の助け合い活動が希薄になっていることが分かります。

また、「あなたが住んでいる地域には、どのような課題・問題がありますか」という問に対し、都市部では「隣近所の関係が薄い」の割合が高くなっています。

都市部には、時間にゆとりのある企業退職者や、地域活動に関心を持つ人が多くいると思われます。このような人材は、人口が減少し、様々な活動の担い手が不足している農山村部でのボランティアや支援で活躍できる可能性があります。

このため、都市部においては、本計画の中でも次の取組を強化していきます。

■都市部において特に必要な取組

- 基本目標1「顔の見える関係づくり」を進める、施策1 地域に関心を持つきっかけづくり
- 基本目標2 地域福祉活動の担い手を増やす、施策2 地域デビュー・活動デビューの推進

(2) 農山村部について

市民アンケートにおいて、「隣近所に、周囲の手助けや協力・支援が必要だと思われる家庭がありますか。それはどのような家庭ですか」という問に対し、支援が必要と思われる家庭があると回答した人のうち、その対象として「ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの家庭」をあげる割合が80%以上となっています。見守りが必要な高齢者が、都市部よりも多く存在することが分かります。

また、「あなたが住んでいる地域には、どのような課題・問題がありますか」という問に対し、農山村部では「生活環境の整備（道路や施設のバリアフリーなど）」の割合が比較的高く、生活の不便さが課題となっていることがうかがえます。

農山村部は都市部よりも人口減少率が高く、少子高齢化も進んでいます。様々な活動で人手が足りなくなっているため、山畑の手入れや子どもとの交流など、都市部からの支援等を受け入れる体制づくりを行うことも必要です。

このため、農山村部においては、本計画の中でも次の取組を強化していきます。

■農山村部において特に必要な取組

- 基本目標2 地域福祉活動の担い手を増やす、施策3 地域におけるリーダーなどの育成
- 基本目標3 助け合いのできる地域をつくる、施策1 支援をつなぐコーディネート機能の充実
- 基本目標3 助け合いのできる地域をつくる、施策2 見守り活動の活性化
- 基本目標3 助け合いのできる地域をつくる、施策3 多様な主体によるサービスの提供

第5章では、平成25年度及び26年度において実施した、概ね各地区3回ごとの住民懇談会からの意見をもとに、これから地区で取り組む地域福祉の方向性を示しています。



地区ごとに、人口データ、地理的な特性や歴史的背景、住んでいる人の状況などの概況を掲載しています。

第1回の住民懇談会で出された地区の「自慢できるところ」「困りごと」を掲載しています。

みんなでつくる未来の梅坪台地区

自ら参加！自ら挨拶！ができる 健康でふれあい豊かなまち ～語り合え、育み合え、頑張り合えるまちづくり～

地域づくりの主役は地域に住む私たちであるとの思いから、“まず、住民が行動する”との視点にたち、いつまでも元気に楽しく暮らしていける梅坪台地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

①「住民懇談会自治版」を開催しよう！

地域の福祉課題を共有し、解決方法を検討するため、より身近な範囲で住民懇談会を開催しましょう。様々な世代の人への参加を呼びかけ、地域の気になることや自分が取組めるアイデアなどについて活発な意見交換を行い、方向性を共有しましょう。

②誰もが参加できる集いの場をつくろう！

現在、地域活動として行われている行事・イベント等への積極的な参加を進め、年代に関わらず、様々な人が集まる機会にしましょう。また、子どもから高齢者まで、世代を超えて多くの人が交流できる場を、身近な範囲に設置していきましょう。

③地域内で必要とされる様々なサービスを提供しよう！

高齢者や障がい者世帯のちょっとした手助けや、子どもの預かり、通院・買い物などへの移動を支援する仕組みなど、地域内で必要とされている福祉的な支援を、地域内で提供できる仕組みをつくりましょう。担い手となるボランティアグループ等の組織化について支援し、活性化を図りましょう。

④ルールやマナーを守り、美しく安全な街並みを維持しよう！

ごみ拾いの実施や、ごみ捨てに関するマナーの徹底、花壇などへの緑化活動等により、美しく清潔な街並みを維持していきましょう。

⑤地域内の団体・組織間の連携を強化しよう！

自治区同士の連携や、交流館と自治区の連携、その他地域の団体・組織間の連携などを強化し、より効果的な地域活動に取組める体制を整備しましょう。

第2回の住民懇談会で意見交換し、決定した「地区のキャッチフレーズ」を掲載しています。

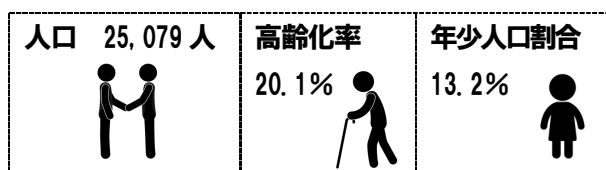
第2回の住民懇談会で出された地区の「私たちができること・していきたいこと」を掲載しています。

崇化館地区

地区の概況

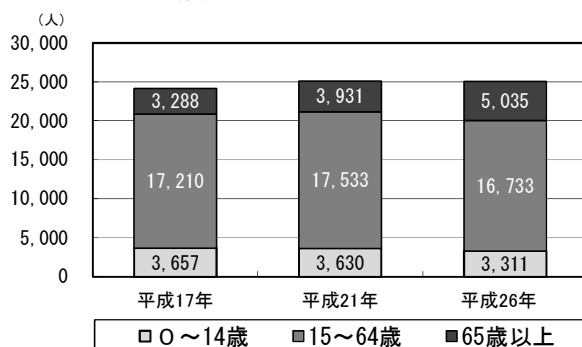
崇化館地区は、市の顔でもある豊田市駅を有し、市役所などの公共施設、デパートなどの商業施設が多数ある、活気あふれる地区です。

■地区の概況



平成26年10月1日現在

■人口の推移



地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 住民同士の仲が良く、顔の見える関係ができています。
- ひとり暮らしの高齢者への訪問活動などで見守りの体制ができています。また、子どもたちの登下校の見守り活動も行われています。
- 街中でも、自然豊かな公園が多くあります。「くすのき募金」などの、住民の自然を守ろうとする活動が活発です。
- 道路が整備されており、福祉施設、医療機関、商業施設、公共施設、交通機関などが身近にあり、住環境が整って便利な地区です。
- 地域の祭りを縁としたつながりや、拳母神社などを始めとする歴史・文化が豊かな地区であり、住民が誇りを持っています。



地区の困りごと

- 隣近所でも、お互いに遠慮がちになってしまいう面があります。手助けを必要としていても、「世話になりたくない」という気持ちが残っています。
- マンションなどの集合住宅が増え、住民とのふれあいが減少しています。人の入れ替わりも多く、顔見知りになれていません。
- ひとり暮らし高齢者や、家を持たずに生活している人、障がい者のいる家庭など、支援を必要とする様々な人が地域に増えています。
- 高齢者は増えているものの、老人クラブの加入が減少しており、運営が困難になっています。
- 交通量の増加による事故や騒音の問題、飲食店が多いことによるごみ問題、治安の悪化など、都市部ならではの地域課題が見られます。

24 時間 “ありがとう” でつながり、 近隣同士が支え合えるまち 崇化館

日々、近隣同士がお互いさまの気持ちでつながり合い、自分のできることで、ちょっとした“おすそ分け”がし合える崇化館地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① コミュニケーションから支援につなぐ仕組みをつくろう！

地域全体で、多くの人とコミュニケーションを図る機運を高めましょう。日常的なあいさつや行事での交流などを通じて、たくさんの地域の人とコミュニケーションをとることを促進しましょう。また、コミュニケーションを通じて、誰かの困りごと、悩みごとを把握し、支援につなげられるような体制をつくりましょう。

② 地域活動や福祉の情報をみんなに知らせよう！

自治区活動など、地域で行われている活動の目的や内容を、広く住民に伝え、参加を促しましょう。また、活動にあたって人々の福祉に関する知識が高まるよう、病気や障がいについての情報提供や啓発を進めましょう。

③ 生活マナーを高め、美しく安全な住環境を整えよう！

地域みんなでごみ拾いなどの環境美化活動に取り組みましょう。きれいな環境を保つことで、汚されない、ごみを捨てにくいまちづくりを進めましょう。また、交通事故防止に取り組み、人と車が安全に共存できるまちづくりを進めましょう。

④ 身近に集いの場をつくろう！

商店街の空き店舗や自宅の開放など、地域の資源を活用して、世代を越えて誰もが集える憩いの場をつくりましょう。そのような場を活用して、隣近所の人や、新たに地域に引っ越してきた人と交流できる機会を充実しましょう。

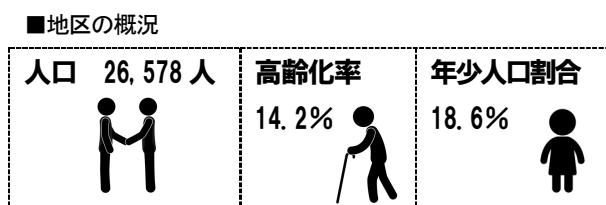
⑤ 活動の担い手づくりや、地域全体の協力体制づくりを進めよう！

地域や自治区ごとに、地域住民の意見を聴く機会を設け、住民ニーズの把握に努めましょう。また、把握した住民ニーズに応じた活動ができるよう、地域全体で活動に取り組む共通認識と担い手づくり、体制づくりを進めましょう。

梅坪台地区

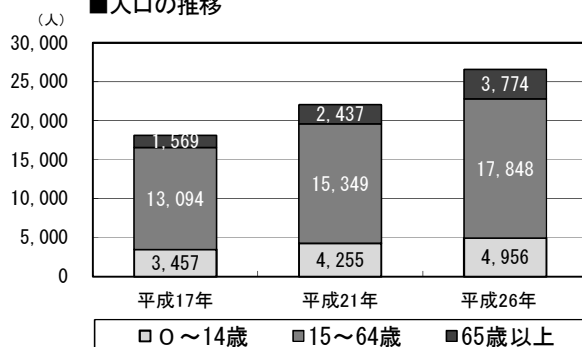
地区の概況

梅坪台地区は、地域全体の統計としては、高齢化率が低く子どもが多い平均年齢の若い地区ですが、地区を構成している自治区ごとに見ると、規模や地域性に特徴が表れています。



平成26年10月1日現在

人口の推移



地区の現状・課題

地区の自慢できること

- 子どもや若い世代が多く、活気にあふれています。新たな転入者もあたたかく受け入れ、お互いに気軽にあいさつができる地区です。
- 同世代の人が居住しており、親同士のつながりができています。
- PTAや子ども会、老人クラブ、ボランティアなどの地域団体・組織の活動が活発に行われています。
- 医療機関、商業施設、公共交通機関なども充実しています。
- 小中学校や高等学校、特別支援学校、こども発達センターなどがあり、教育、福祉施設が充実しています。



地区の困りごと

- 一定の世代が固まって居住しているので、将来的に地域の高齢化が一気に進むことが心配です。
- 共働きなどで日中留守にしている家庭やアパート、マンションが増え、交流が乏しくなっています。また、既存の住民と転入してきた住民との間でのつながりも希薄になっています。
- 自治区や団体・組織のリーダーとなる人材や担い手が不足しています。若い世代では地域活動に参加しない人も増えています。
- 空き巣被害や不審火など、地域の安全を脅かす事案が増えています。
- 高齢者のふれあいの場や機会がないことや、孤立した子育てをしている人が見られることなどが課題です。



自ら参加！自ら挨拶！ができる 健康でふれあい豊かなまち ～語り合え、育み合え、頑張り合えるまちづくり～

地域づくりの主役は地域に住む私たちであるとの思いから、“まず、住民が行動する”との視点に立ち、いつまでも元気に楽しく暮らしていける梅坪台地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① 「住民懇談会自治区版」を開催しよう！

地域の福祉課題を共有し、解決方法を検討するため、より身近な範囲で住民懇談会を開催しましょう。様々な世代の人への参加を呼びかけ、地域の気になることや自分に取り組めるアイデアなどについて活発な意見交換を行い、方向性を共有しましょう。

② 誰もが参加できる集いの場をつくろう！

現在、地域活動として行われている行事・イベント等への積極的な参加を進め、年代に関わらず、様々な人が集まる機会にしていきましょう。また、子どもから高齢者まで、世代を超えて多くの人が交流できる場を、身近な範囲に設置していきましょう。

③ 地域内で必要とされる様々なサービスを提供しよう！

高齢者や障がい者世帯のちょっとした手助けや、子どもの預かり、通院・買い物などへの移動を支援する仕組みなど、地域内で必要とされている福祉的な支援を、地域内で提供できる仕組みをつくりましょう。担い手となるボランティアグループ等の組織化について支援し、活性化を図りましょう。

④ ルールやマナーを守り、美しく安全な街並みを維持しよう！

ごみ拾いの実施や、ごみ捨てに関するマナーの徹底、花壇などへの緑化活動等により、美しく清潔な街並みを維持していましょう。

⑤ 地域内の団体・組織間の連携を強化しよう！

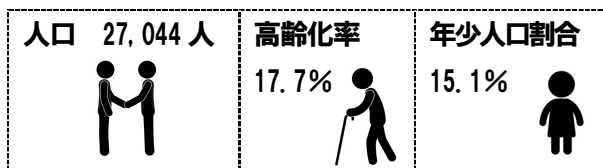
自治区同士の連携や、交流館と自治区の連携、その他地域の団体・組織間の連携などを強化し、より効果的な地域活動に取り組める体制を整備しましょう。

朝日丘地区

地区の概況

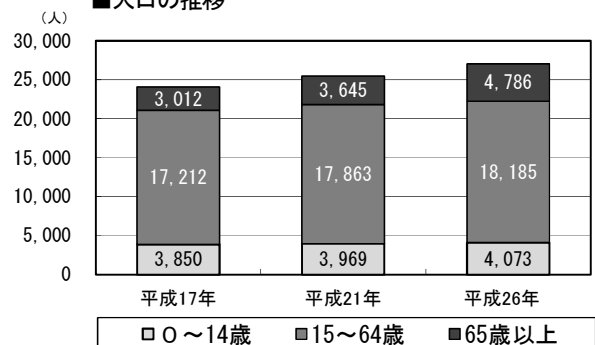
朝日丘地区は、市街地に隣接しており、商業施設や公共施設が充実している地区です。地区内には住宅や工場があり、にぎわいのある地区となっています。

■地区の概況



平成 26 年 10 月 1 日現在

■人口の推移



地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 地域内での人とのつながりが強く、また、隣近所での支え合いができています。
- 老人クラブの活動が活発です。地域を高齢者が守ってくれています。
- 地区内の団体・組織同士の風通しが良く、コミュニケーションが良好で連携がとれています。
- 盆踊りやお祭りなどの、昔ながらの行事も残っており、多くの人が参加し、活動しています。
- 商業施設や公共施設が多く、交通の便も良いため、暮らしやすい地区となっています。また、子どもたちが遊べる広場も多くあります。

地区の困りごと

- 子どもの声があまり聞こえず、外で子どもが遊ぶ姿を見かけません。また、子どもと高齢者とのつながりが、やや乏しくなっています。
- 住民同士のつながりが希薄になりつつあり、また、転入してきた新たな住民が自治区活動に参加しない場合も見られます。
- サロンへの参加者の固定化が見られます。また、ボランティア活動への参加意識の低下や、地域団体・組織の役員のなり手がいないことなども課題であり、全般的に地域福祉活動の担い手が不足しています。
- 高齢者のみの世帯や、日中、一人で過ごしている障がい者など、気になる対象は見られるものの、地域でどのような困り事があるのか、また、誰が困っているのかなど、情報を得る機会がありません。

助け合い、支え合い、地域を守り合える お得が実感できるまち！ ～知恵と人を活かし、つなぎ合える朝日丘～

地域住民一人ひとりが持っている知識や経験を発揮しながら、人や地域を支え守り合える、住んでいて良かったとお得感を実感できる朝日丘地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① 地域行事や地域活動への参加を進めよう！

地域の盆踊りやお祭り、行事やイベントなどの地域活動に積極的に参加する機運を高めましょう。また、ボランティア活動や、子ども、高齢者の見守りなどの既存の活動にも積極的に参加するようにしましょう。

② 地域課題の情報を集めよう！

地域の福祉課題について、自治区における住民懇談会や、組単位で集まる機会を設け、地域の団体・組織や関係機関との連携により情報収集と整理を行いましょう。また、身近なところで困っている人がいる場合、すぐに支援機関等につなぐことができるような体制をつくりましょう。

③ 地域活動の担い手を育成しよう！

定年前の世代を対象とした働きかけや、事前学習のための講座等の開催、人材の登録制度の運用などについて検討を進め、地域活動のリーダーや担い手として活躍してもらえる人材を、地域で発掘・養成しましょう。

④ 生活しやすい環境づくりに向けて検討を進めよう！

高齢者になっても地域で暮らし続けることができるよう、買い物や医療機関への通院、日常的な困りごとなどへの支援体制について、関係者間で検討を進めましょう。医療機関関係者や地域の商店主なども含めて、地域内での総合的な支援体制づくりを進めましょう。

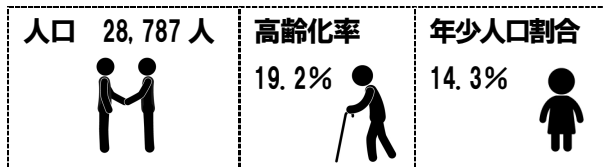


逢妻地区

地区の概況

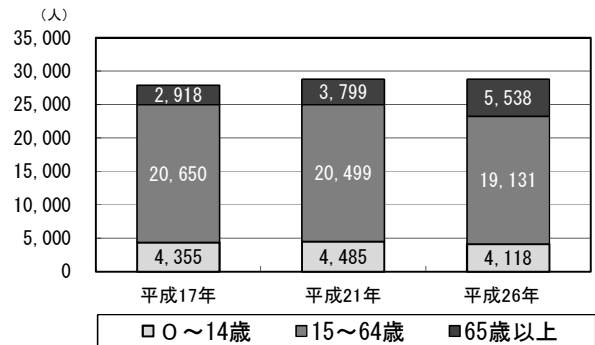
逢妻地区は、みよし市に隣接しており、国道 153 号、東名高速道路豊田インターチェンジを有しています。工場や住宅地が多い地区です。

■地区の概況



平成 26 年 10 月 1 日現在

■人口の推移



地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 住民同士のつながりができており、日常的なコミュニケーションがとれています。地域行事などへの住民の参加も活発です。
- ボランティア活動や地域の見守り隊活動に参加する住民が多く見られます。
- 子どもはあいさつももしっかりできており、元気に活動しています。
- 地区内にある企業や大学等との交流や、連携した活動に取り組んでいます。
- 豊かな田園風景が残り、緑の丘陵地があります。逢妻女川のクリーン活動なども行われており、地域の中に自然を守る機運ができています。
- 大型スーパーや高速道路のインターチェンジもあるので、利便性が高い地区です。

地区の困りごと

- アパートやマンションなどの集合住宅が多く、どのような人が住んでいるか把握できにくくなっています。戸建住宅でも表札を出さない人が見られます。
- 自治区に加入しない人や、地域活動に参加しない人がいます。また、住民の高齢化により、活動の後継者が不足するなど地域の担い手が不足しています。
- ひとり暮らし高齢者や認知症の高齢者が増加しています。また、外国人住民も多く住んでいます。
- バリアフリーになっていないところが見られ、障がいのある人が生活するには不便な状況です。
- 地区内の道路を通過する交通量が多いため、交通事故の心配があります。
- 子どもたちの下校時間に大人の目が届いていないことが心配です。また、地区によってあいさつをしない子どもがいます。

笑顔とふれあいに満ちた 世代間のつながりを感じる逢妻

～みんなで集まり、みんなが元気な心の通い合うまちづくり～

子どもから高齢者までの全ての住民が、日頃から交流でき、支え合い見守り合えるような、人も地域も元気な逢妻地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① 子どもたちへの地域教育を進めよう！

地域と学校が連携し、地域教育や、逢妻地区の特色を活かした福祉教育を進めましょう。その際には、住民が持っている特技や技能を活かした教育活動を心がけましょう。また、高齢者と子どもとの交流機会の創出や、共働き世帯の子どもの居場所づくり、子どもの見守りなどにも取り組みましょう。

② 多くの人が地域行事に参加できる工夫をしよう！

子どもから高齢者まで、様々な世代の住民が参加できる行事・イベントの開催に向けて、内容や場所、開催時間などを工夫しましょう。

③ 地域みんなで福祉の知識を深めよう！

地域住民が様々な福祉活動に取り組むために、高齢者福祉、障がい者福祉、子ども福祉などの様々な分野の情報発信や、学習機会の提供を行いましょう。

④ 生活マナーやルールを守れる地域づくりを進めよう！

決められたごみの捨て方、出し方が徹底されるよう、地域内での啓発や情報提供を進めましょう。また、誰もが内容を理解できるように、よりわかりやすい周知方法を工夫しましょう。

⑤ 地域で高齢者などを見守る仕組みをつくろう！

隣近所の日常的な見守り、声かけを促進するとともに、地域の団体・組織と民生委員・児童委員などとの連携を強化し、ひとり暮らし高齢者や、支援が必要な人の情報を共有し、支援につなげましょう。



高橋地区

地区の概況

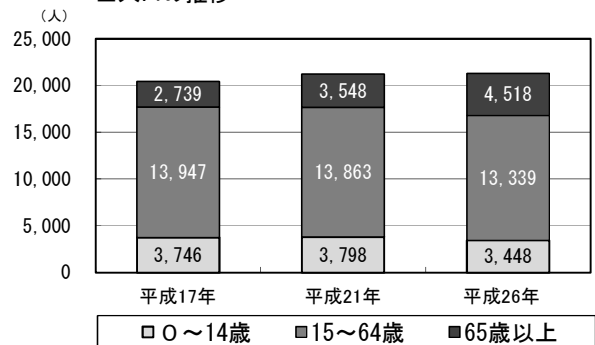
高橋地区は、東西に長い地形で、住宅地と自然が残る山間部があります。地区内には鞍ヶ池公園などがあり、地区外から訪れる人も多く見られます。

■地区の概況



平成26年10月1日現在

■人口の推移



地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 自治区活動が活発で、子どもから高齢者まで、多くの人が行事等に参加しています。
- 隣組同士の仲が良く、声をかけやすい、助け合える関係ができています。地区内でのあいさつ運動なども活発に行われています。
- 子どもたちが元気で、中学校のボランティア活動などが盛んです。民生委員と学校との連携した取組も進んでいます。
- 地区内でボランティアグループ、NPO法人が活躍しています。それらの活動により、高齢者への見守り、仲間づくりなどが進んでいます。
- 中心市街地に近く、交通の便も良い、暮らしやすい地区です。地区内には豊かな自然も残っています。
- 伝統芸能、山車、寺部城址、守綱寺などの、地区の歴史、文化、伝統が大切に守られ、継承されています。

地区の困りごと

- 高齢化が進みつつあり、認知症高齢者への対策、定年後の人の地域参加、車の運転ができなくなった人への支援などについて検討が必要です。
- 地区内に外国人住民が多く住んでおり、交流が難しくなっています。
- 自治区の役員など、地域活動の担い手が高齢化しています。また、若い世代も少なく、後継者が不足しています。自治区の在り方や、住民の考え方が変化しつつあります。
- 集合住宅に住む人や、転入してきた人などとの交流が十分にできていません。地域に住む住民の顔がわからなくなっています。
- 歩道が狭いところや、子どもの通学路になっているところでは、交通事故の心配があります。
- 地震などの大規模災害に対する備えが不十分であり、対応が必要です。

高齢者から子どもに心がつながり コミュニケーションのとれた 晴れ晴れ高橋

地域の歴史や文化、風土や風習、知恵や経験がしっかり次代に受け継がれ、地区に住むみんなが同じ思いを抱きながら、気持ちよく住んでいける高橋地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① あいさつ運動を通じて顔の見える関係をつくろう！

現在、取り組んでいるあいさつ運動や、日常的な隣近所とのあいさつを継続しましょう。自分からあいさつしていくことを通じて、交流の良いきっかけにしましょう。

② 高齢者を支援する地区内の仕組みをつくろう！

ひとり暮らし高齢者への訪問や、高齢者が集まることができる場所づくり、名簿の作成による体系立った見守り活動などを、地区内の様々な団体・組織間の連携を強化しながら進めましょう。また、高齢者自身も生きがいを持って、担い手として活動できるような支援の仕組みをつくりましょう。

③ 様々な世代の人が参加する地域組織をつくろう！

働き盛りの世代や、子育て中の世代への働きかけや、子ども会と老人クラブとの共同事業の実施などを行い、様々な世代の人が参加できる地域組織づくりを進めましょう。自治区などの地域活動には、隣近所の人に声を掛けあって参加し、より多くの人に参加できるようにしましょう。また、行事やイベントについて、地区内の誰もが参加できる内容のものを企画してみましょう。

④ 災害に備えて安全・安心な地域づくりを進めよう！

地域の防災訓練に積極的に参加しましょう。また、備蓄や避難経路の確認など、日頃からできる対策を各家庭でとりましょう。地区内では、より多くの人が防災に関心を持ってもらえるような啓発、情報提供を行いましょう。

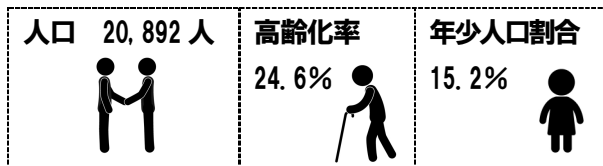


美里地区

地区の概況

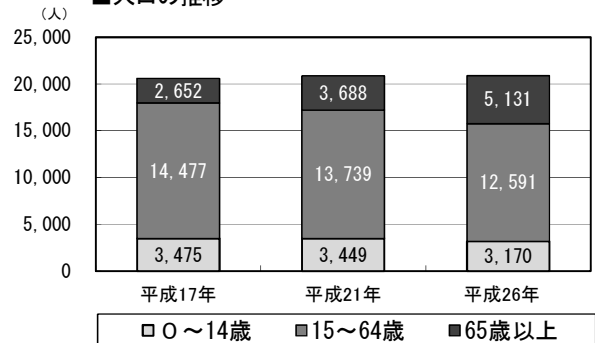
美里地区は、中心市街地に隣接しています。宅地開発が進んでおり、商業施設も増加しているにぎわいのある地区です。

■地区の概況



平成26年10月1日現在

■人口の推移



地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 住民同士のふれあいの機会が多く、組単位で懇親会が行われているところもあります。
- 自治区の行事への参加率も高く、また老人クラブの活動も活発です。
- 高齢者の集いの場やふれあいサロン、「ふれあい会食会」での交流など、高齢者が人と関わる機会が多くあります。
- 中学生のボランティア活動が盛んに行われています。また、登下校時のあいさつがしっかりできている子どもが多くいます。
- 夜間パトロールが住民参加で行われており、また、防犯灯も整備されているため安全、安心が感じられる地区です。



地区の困りごと

- 子どもと高齢者などとの世代間交流の機会が少なく、コミュニケーションがとれていません。身近なところで支え合う機運にかけています。
- ごみの分別ができていなかったり、ごみのポイ捨てがあったり、ペットのフンが放置されていたりするなど、ルールやマナーが守られていないことが多く見られます。
- 地域の団体・組織の役員のなり手が不足しています。ボランティア活動などにも参加する人が減っています。
- 高齢化が進むことが予想され、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯も増えています。しかし、住民の危機意識もまだ薄く、十分な対応がとれていません。
- 外国人住民が増加し、コミュニケーションをとることが難しくなっています。

㊦ “ふれあい” “支え合い” “助け合い” たくさんの笑顔と誇りあふれるまち 「み・さ・と」 ㊦

温かみに包まれて暮らしたいとの思いで「㊦」を用いました。みんなが“住んでいて良かった！”
と思えるような笑顔あふれる美里地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① 地域に関心を持つ機会を増やそう！

福祉に関する勉強会などを開催し、住民が地域や地域福祉に関心を持つ機会を増やしましょう。
また、地域で活動している団体・組織の人や、様々な世代の人の参加で情報を持ち寄り、地域課題の共有を行いましょう。そして、それらの情報が、地域に住むより多くの人に行き渡るような工夫をしましょう。

② ボランティア活動を活発にしよう！

一人ひとりが、自分のできる範囲で地域のボランティア活動に参加しましょう。また、様々な規模や分野でボランティアや趣味の活動を行うグループを組織し、誰もが居場所や仲間を持てる地域づくりを進めましょう。

③ 子どもと高齢者との世代間交流を活発にしよう！

子ども会、老人クラブなどの地域団体や学校との連携を強化し、世代間交流の機会を増やしましょう。高齢者による子どもの登下校のあいさつ・見守り活動や、地域の伝統文化の継承活動などを通じ、地域教育と世代間交流を活性化しましょう。

④ 誰もが集える場づくりを進めよう！

人と出会い、話をしたりできる場として、身近な地域で、誰もが気軽に立ち寄って交流できる場をつくりましょう。より多くの人に来てもらえるよう、地域に応じた場の在り方などを検討しましょう。

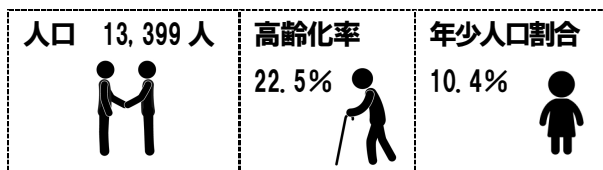


益富地区

地区の概況

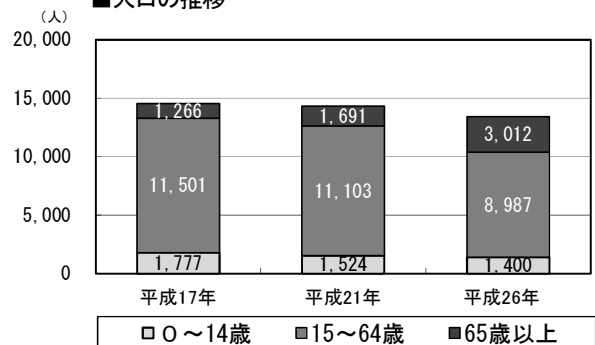
益富地区は、住宅開発により発展してきた地区であり、住宅団地やニュータウンなどがあります。地区の東側は山間部となっており、緑も多い地区です。

■地区の概況



平成 26 年 10 月 1 日現在

■人口の推移



地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 同年代の人が住んでいることが多く、住民同士の交流ができています。多くの住民が地域への愛着を持って暮らしています。
- 地区内で伝統文化の継承活動が行われています。
- 公園や遊歩道が整備されており、潤いある住環境となっています。里山が近く、ホテルも飛び交う自然豊かな地区です。
- おいでんバスや高速バスが乗り入れており移動が便利です。地区内で買い物ができる施設も充実し、生活環境が良好です。
- ごみ出しなどの生活マナーもよく、美しい町並みが維持されています。
- 防犯灯が整備されており、犯罪がない、安全・安心な地域です。

地区の困りごと

- 今後、地区内の高齢化が急速に進むことが見込まれていますが、ひとり暮らし高齢者の孤立の問題や、閉じこもりがちな人への対応、居場所づくりなどが課題となっています。
- 困りごとがある場合の相談先が分かりません。隣近所の人に手伝ってほしくても、必要以上に入り込まれたくない場合があります。
- 自治区の運営について、担い手不足などの課題があります。また、老人クラブについても、加入者は増えていても活動者が減少しています。
- 災害時の要援護者への支援や、子どもたちの登下校の安全確保などに取り組む必要があります。
- 高齢者の健康の問題や、医療機関への通院の問題、介護サービス事業者の不足など、高齢化に伴う不安があります。

子どもから高齢者まで 笑顔でつながり輝く益富!!

いろいろな年代層が、普段からつながり合え、支え合うことができるとともに、人や地域がホタルのように輝き合える益富地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① 様々な世代の集いの場をつくろう！

子どもと高齢者を対象とした居場所づくり、若い世代を対象としたサロン、自宅を開放したオープンカフェ風サロンなど、地域の様々な人を対象にした交流の場づくりを進めましょう。区民会館や集会所、喫茶店や自宅など、地域内の様々な資源を活用して、顔の見える関係づくりのきっかけにしていきましょう。

② ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯等への支援体制をつくろう！

ひとり暮らし高齢者への声掛け、訪問や、散歩の時などを活用した見回りなどにより、高齢者が孤立しない地域づくりを進めましょう。また、買い物の代行や、通院の送迎など、地域内で高齢者を支援するボランティア活動の体制づくりを進めましょう。

③ 誰もが安全・安心に暮らせる地域をつくろう！

子どもの登下校の見守りや、消費者被害防止のための啓発などの防犯活動を、より多くの人の参加で実施しましょう。また、避難訓練の実施や、隣近所での情報共有等により、いざという時に災害時要援護者の支援ができる地域体制をつくりましょう。

④ 交流を促進する行事・イベントを企画しよう！

老若男女が参加できる地域ぐるみの交流行事・イベントを企画し、実施しましょう。組単位などの身近なところで開催し、子どもから高齢者まで、楽しんで参加できる機会にしましょう。また、そこから自治会活動や地域団体・組織への参加を促進するなど、地域活動活性化のきっかけとしていきましょう。



豊南地区

地区の概況

豊南地区には、トヨタ自動車本社、関連工場があります。地区内には住宅地の他、田畑や、桜の名所である水源公園などがあり、豊かな自然が残る地区です。

■地区の概況



平成26年10月1日現在

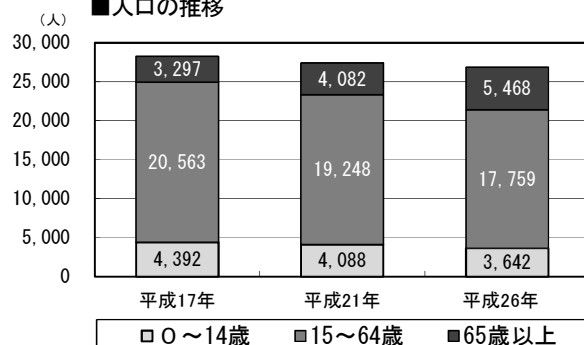
地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 地域内でのあいさつや見守り、声の掛け合いなどがしっかりできており、住民同士のまとまりが良い地区です。
- 地域内の団体・組織活動やボランティア活動が活発であり、特に盆踊りのやぐら立ては住民総出で実施しています。
- 水源公園の桜や、様々な植物、生物がみられ、自然が豊かな地区です。
- 商業施設や医療機関、公共交通機関が身近な地域にあり、便利な環境となっています。
- 地域全体で「夜の玄関灯点滅活動」やパトロールを実施するなど、防犯意識が高く、住民相互の見守り体制が整備されています。
- 地域内の企業が地域活動に協力してくれており、連携できています。



■人口の推移



地区の困りごと

- 地域内にどのような人が住んでいるのかが把握できておらず、交流につながっていません。
- 地域活動への住民の参加意識が低下しています。特にアパート、マンションなどの集合住宅に住む人の参加が少ない状況です。
- ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増えており、災害の時など不安があります。また、ひきこもりや不登校の子どもがいる世帯もあり、どのように支援していけばいいのかが明確になっていません。
- 障がい者への理解が進んでいません。ハード面、ソフト面、両方からの配慮が必要です。
- 車の往来が激しく、交通事故の心配があります。交通ルールが守られていない場合も見られ、ルールの徹底が求められます。
- 公共交通機関がない地区があり、高齢化が更に進んだ場合の移動手段が心配です。

“私発” 心豊かでつながり合え、 笑いのたえない豊南 ～Safe・Super・SUGOI まちを目指して～

自らが積極的に行動することを目的に“私発”とし、笑顔の絶えない、そして、みんなで支え合うことができ、いつまでも住み続けたいスゴイ豊南地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① 自分から積極的にあいさつをしよう！

地域の人に、自分から積極的にあいさつをしていきましょう。また、地域内で「あいさつ運動週間」を設定するなど、みんながあいさつを通じて顔の見える関係をつくれるよう、機運を高めましょう。

② 障がい者や障がいに関する理解を進めよう！

障がいのある人が、日常でどのような事に困っているのか、また、障がいの特性によって、どのような支援を求めているのか、知識を深めましょう。地域の中で、障がいや障がい特性について理解するための学習の機会をつくりましょう。そして、地域の中で困っている障がい者を見かけたら、積極的に手助けをしましょう。

③ 地域の活動に積極的に参加しよう！

自治区や地域団体・組織が行う行事やイベントに、隣近所の人を誘って参加しましょう。また、地域内の多くの人が交流し、ふれあうことができる、新たな集いの場の開催についても検討を進めましょう。

④ 地域の中で助け合い、支え合い活動を行うための組織化を進めよう！

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、障がいのある人など、地域の中で何らかの手助けが必要な人への支援を行うため、ボランティア等の組織化を進めましょう。また、高齢者の世帯や障がい者の世帯同士でもネットワークをつくり、必要な情報を地域に提示していきましょう。

⑤ 住民懇談会などを定期的に開催し、地域の課題を見つけよう！

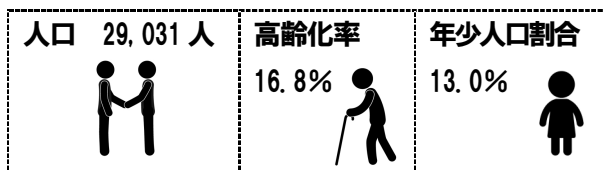
自治区単位で住民懇談会を開催するなどし、地域の課題をみんなで共有しましょう。また、地域の声が直接、取組に反映されるよう、地域の団体・組織間の連携を強化するとともに、課題を解決するための仕組みをつくりましょう。

末野原地区

地区の概況

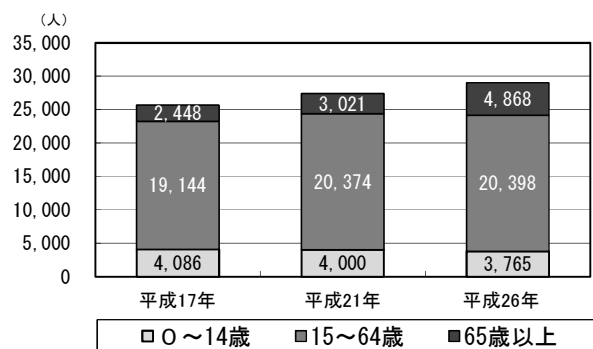
末野原地区は、豊田市で最も人口の多い地区です。東名高速道路上郷サービスエリア、伊勢湾岸道豊田東インターチェンジを有し、主要道路が交わっています。住宅が密集する地域と、田畑が広がる地域があります。

■地区の概況



平成26年10月1日現在

■人口の推移



地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 自治区の活動がしっかりと実施されており、活発です。
- 人とのつながりがあり、隣近所での交流ができています。人が多いので、たくさんの人と関わり、知り合うことができます。
- 医療機関もあり、買い物をする場所もあるので、高齢者になっても暮らしやすい環境です。
- 子どもたちを見守る体制ができており、登下校が安心です。
- 世代間交流や女性会の活動、ボランティア活動などが活発です。高齢者が活躍できる機会も充実しています。
- 豊田東インターチェンジや、鉄道の駅があり、遠方への移動にはとても便利な環境です。



地区の困りごと

- 若い世代が地域活動に無関心なことが多く、活動の継続が心配です。
- 自治区や老人クラブなどの団体・組織活動がより活性化するように、体制や活動内容を見直す必要があります。
- 老々介護や高齢者のみ世帯、ひとり暮らし高齢者などが増えています。虐待なども見逃さないようにする地域をつくっていく必要があります。
- 事故や空き巣の被害も増えており、安全な地域づくりに取り組む必要があります。
- ごみ出しや公園の利用などにおいて、ルールやマナーを守らない人が見られます。
- 不審者、空き巣被害が多発しています。
- 地域によっては、歩いて行けるスーパー、商店がないため、車に乗れなくなった時のことが心配です。

自分のまちに誇りが持て、 助け合え、支え合え、見守り合える末野原！ ～まちを歩き 地域力を創る～

私たちのまちに愛着と誇りを感じ、住んで良かったと思える地域となるよう、日頃から地域に関心を持ちながら、住民相互が協力し合える末野原地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① 高齢化に対応した地域づくりに取り組もう！

高齢化に伴い増加することが見込まれる認知症高齢者、徘徊高齢者などを地域で支援する体制づくりに向け、認知症に関する学習会や、徘徊高齢者の搜索訓練等を実施しましょう。また、何よりも自分たち一人ひとりが自立できるようにするため、積極的な健康づくりや介護予防に取り組むとともに、あわせて生きがいづくり、仲間づくりも進めましょう。

② できることから、地域の見守り・見回りを進めよう！

散歩やウォーキングなどの、日常的・定期的で気軽に取り組める活動を通じて、地域の見回り、見守りを進めましょう。道行く人へのあいさつやコミュニケーションを通じて、防犯や生活マナーの向上、子どもの登下校の安全確保などにつながるよう取り組みましょう。

③ 地区内のインフォーマルな支援活動を活発にしよう！

地区内で助け合いや支え合い活動を組織的に進めることができるグループづくりを促進しましょう。花壇の草取りや水やりなど、ちょっとした手助けができるようなボランティア等を育成しましょう。

④ 世代を超えた交流を進めよう！

子どもと高齢者など、世代を超えて住民同士が交流を持てる機会をつくりましょう。お祭りなどの地域行事や文化活動、環境美化活動やスポーツ、教育・学習など、様々な分野・テーマに沿って、幅広い人の参加を促進しましょう。

⑤ 地域の団体・組織が活動しやすくなるよう、組織体制を見直そう！

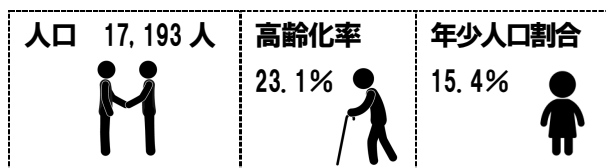
地域の団体・組織に様々な人が参加しやすくなるような体制づくりを進めましょう。そのために、団体・組織内において、多くの人の意見を聞きながら運営方法や体制を見直し、団体・組織の役割や目的、理念等の統一と共有を図りましょう。

上郷地区

地区の概況

上郷地区は、豊田市の南端にあり、安城市、岡崎市と隣接しています。家下川の清掃活動などが活発な、田畑が広がり、工場が多くある地区です。

■地区の概況



平成26年10月1日現在

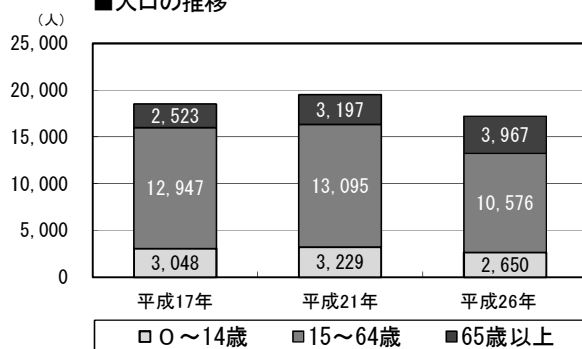
地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 隣人同士でのあいさつや、世代間を超えたコミュニケーションができています。
- 子どもが素直で元気です。あいさつもしっかりできており、部活動もがんばっています。また、子ども同士の仲がよく、中学生と高校生の交流が地域で実践されています。
- 日常的な高齢者の見守りができています。老人クラブの加入率も高く、また、ふれあいサロン、縁友会などの活動が活発なので、高齢者がいきいきと活躍しています。
- 住民有志で防犯パトロールを行っています。防災訓練にも多くの住民が参加し、安全・安心な地域づくりを進めています。
- 家下川の清掃活動を住民主体で取り組んでいます。また、柳川瀬公園は住民の憩いの場となっています。良好な住環境に恵まれています。



■人口の推移



地区の困りごと

- 現在は、比較的核家族も少ないようですが、高齢者ばかりの地区になった時や、ひとり暮らしになってしまった時の不安があります。
- 自治区の役員や、団体・組織の担い手が不足しています。活動が活発になっていません。活動が一部の人だけにとどまっています。
- 組織・団体の役員も負担が多く、活動を活性化するための新たな仕組みが求められています。
- 公共交通機関がなく、車の運転ができないと、通院、買い物できません。
- 障がいのある子どもやひきこもりなど、何らかの手助けが必要な人が見られます。
- 障がいのある人でも気軽に立ち寄ることができる場所が少ない状況です。
- 道路が狭いところや、木造住宅が密集しているところでは、交通事故や火災の不安があります。

ふれあい 支え合い 活かし合い 笑顔と元気でつながる上郷！

日頃から、住民相互が交流し合うことができ、それぞれの住民の力を発揮しながら、笑顔と活気に満ちた地域となる上郷地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① 子どもたちとの交流を促進しよう！

子どもたちが地域で元気に成長することができるよう、登下校や遊び場での見守りを行いましょう。また、地域内の行事やイベントにも積極的に子どもとその親世代の参加を促進し、世代間交流を図りましょう。さらに、子どもたちが放課後に安心して遊べる場所、集まることができる場所を、地域の力でつくっていきましょう。

② 地域の様々な情報を集め、整理し、発信しよう！

施設等の地域資源マップづくりや、要援護者の名簿作成と地図への落とし込みなどを行い、地域のことを知る機会を増やしましょう。また、収集した情報は、地域内のみんなで共有し、地域福祉活動に活かしていきましょう。

③ 地域内の様々な団体活動を活性化しよう！

自治区長と民生委員・児童委員、老人クラブなどの組織・団体同士で意見交換会を開催し、より良い活動に向けて地域の方向性を検討しましょう。また、組織・団体間で連携を図り、地域活動の後継者づくりやリーダー養成に取り組みしましょう。その他、趣味の会や、30歳代、40歳代の男性を対象とした「おやじの会」など、多様なクラブ・組織づくりを支援しましょう。

④ 地域の安全を守る取組を進めよう！

昼・夜の防犯パトロールなどを行い、犯罪の起こらない、安全な地域をつくりましょう。また、防災についても、避難場所の確認や、避難訓練への参加などを行い、いざという時に備えましょう。

⑤ 人が集まる機会をたくさんつくろう！

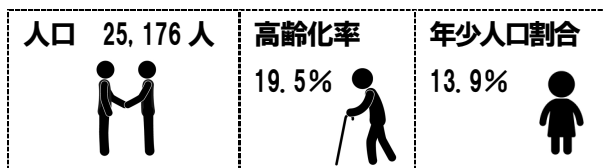
現在行っている地域行事やイベント、サロン等に積極的に参加しましょう。また、新たに引っ越してきた人、これまで地域活動に参加していなかった人でも気軽に参加できるような行事を企画し、ふれあいの機会をつくりましょう。

竜神地区

地区の概況

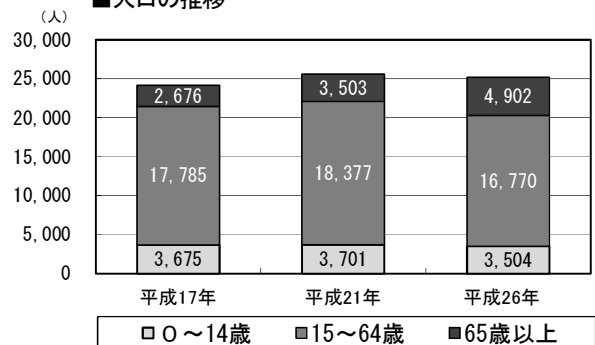
竜神地区は、地区内に名鉄三河線が走り、住宅や工場が多く見られる地区です。商業施設や病院などもあり、生活に便利な地区です。

■地区の概況



平成 26 年 10 月 1 日現在

■人口の推移



地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 環境美化などの組単位での活動が活発で、連携がとれています。近所付き合いや自治区活動も活発に行われています。
- 自治区と企業との連携や、子ども会、小学校と老人クラブとの連携など、団体・組織同士でつながりを持ちながら活動できています。
- 世代間交流やまちづくり活動が盛んに行われており、活気があります。
- 学校や商店、銀行、病院などの施設が多く、生活に便利で、暮らしやすい地区です。
- 大きな川や高い山がないため、水害や土砂崩れなど災害の心配がありません。また、犯罪も比較的少なく、安心できる地区です。



地区の困りごと

- 老々介護や、ひとり暮らし高齢者、不登校の子どもやひきこもりの人がいる家庭など、見守りや支援が必要な世帯が増加しています。
- 近所付き合いが希薄になっていたり、アパートの住人との交流ができにくかったりと、住民同士の交流やつながりが乏しくなっているところも見られます。
- 結婚しない男女がみられ、世帯機能の存続に不安があります。
- 子どもの遊ぶ場所や、高齢者の集う場所が少ない、または不便です。
- ごみ出しなどの生活ルールが守られていないところがあります。
- 空き家や、人が住んでいても日中は不在にしている家が多く、防犯面が心配です。高齢者などをねらった消費者被害が発生するおそれがあります。

ふれあいで しあわせサポート いきいき竜神

普段の生活の中で、人と人が、隣近所同士が、心配りをし合いながら支えあって暮らしていけることにより、安心してイキイキと暮らしていける竜神地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① 助け合い活動を支える仕組みをつくろう！

清水団地では「お助け隊」として、日常のちょっとしたお手伝いを行う組織ができています。このような取組を全地区に広げられるよう、一人ひとりのできることや得意なことと、地域からあがっている福祉的な要望を結びつけ、対応できる仕組みづくりやボランティアの立ち上げを行いましょう。

② 多くの住民が参加できるイベントや居場所をつくろう！

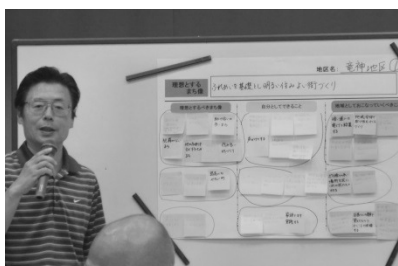
多くの住民が楽しんで、気持ちよく参加できる行事やイベントを企画し、実施しましょう。また、日常的に寄ることができる居場所・集いの場づくりを進めましょう。そのような場・機会に参加する際には、隣同士での声の掛け合いや送迎などを行い、より多くの人が参加できるように工夫しましょう。

③ ごみ出しなどの生活ルールやマナーを徹底しよう！

ごみ出しなどの生活マナーがしっかりと守られるように、転入者への説明や、子どもへの説明、子どもを通じた親世代への説明を進めましょう。ごみ出しをコミュニケーションの機会ととらえ、積極的にあいさつや会話をすることで、良好な環境をつくりましょう。

④ ひとり暮らしの高齢者を見守る仕組みをつくろう！

地区内で増加しつつあるひとり暮らし高齢者が孤立しないよう、定期的な訪問や声かけを行う仕組みをつくりましょう。プライバシーを守りつつ、ひとり暮らし高齢者の情報を共有し、地域みんなで見守りができるようにしましょう。

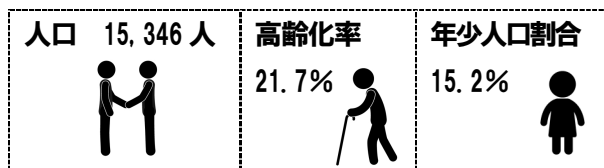


若林地区

地区の概況

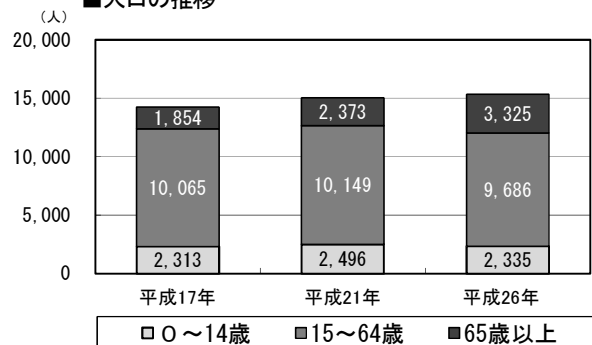
若林地区は、名鉄三河線沿線に住宅が建ち並んでおり、地区の周辺部には田畑が広がっています。

■地区の概況



平成26年10月1日現在

■人口の推移



地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- サロンやボランティアなどの、住民主体の活動が活発です。また、老人クラブ、ジュニアクラブ、消防団などの地域組織もしっかりと活動を進めています。
- 転入者をあたたかく迎え入れ、住民同士のまとまりも良い地区です。
- 子どもたちが地域の人にしっかりあいさつし、元気に登下校しています。高齢者から子どもたちへの伝統文化の継承や、老人クラブによる子どもたちの見守り活動なども行われています。
- 公園や広場、鉄道などがあり、快適で利便性の高い住環境です。
- 桜並木やタンポポロード、遊歩道などが整備されており、気持ちよく散歩などができる環境になっています。

地区の困りごと

- 隣近所の関係が希薄になっており、地域行事などへ参加しない人も見られます。
- 日中、仕事を持っている若い世代は地域活動に目が向いていないことが多く、活動の後継者がいません。
- 高齢化が進んでおり、ひとり暮らし高齢者も増えています。空き家や耕作放棄地も見られ、景観や、地域の安全確保などが心配です。
- ごみの不法投棄や、ごみ出しのマナーが守られていないところがあります。
- 商店や病院などの施設がある所は一部であるため、車が運転できないと生活に困る高齢者も出てくることが予想されます。
- 空き巣の被害が増えたことや、災害に対する備えが十分でないことなど、もしもの時の安全に不安があります。

地域のキズナが培われ 子どもから “幸齢者” までがいつまでも安心して暮らせる ふれあい豊かなまち

高齢者を“幸齢者”としました。地域に住む全ての住民の“ふれあい”と“絆”を実感しながら、いつまでもこの地域に住み続け、幸せな年を重ねていける若林地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① 日頃のあいさつや子どもの見守りをみんなで推進しよう！

地区内を行き交う人へのあいさつ、声かけを行い、コミュニケーションを図りましょう。「あいさつ運動」などの展開により、地域内の誰もがあいさつし合う環境をつくりましょう。また、子どもたちの登下校時の見守り、あいさつも引き続き進めていきましょう。

② 地域活動に積極的に参加しよう！

高齢者のサロンや、ボランティア活動、地域の団体・組織が開催する行事やイベント等に、周りの人と誘い合って積極的に参加しましょう。活動にあたっては、自分が持っている得意分野を活かしたり、リーダー的な役割にチャレンジしたりしてみましょう。

③ 高齢者を支援するための組織づくりを進めよう

高齢者の生活を支えるための、買い物の支援、病院などへの送迎、日常的な声かけ、見守り、訪問活動などを、地域全体で行えるような仕組みづくり・組織づくりを進めましょう。

④ 団体・組織間で連携するための仕組みをつくらう！

地域内で活動している様々な団体・組織が、連携した活動を行うことができるよう、イメージの共有と計画化、実行のための合意形成などを図りましょう。地域ぐるみで福祉課題・生活課題の解決に向けて力を合わせられる体制をつくりましょう。

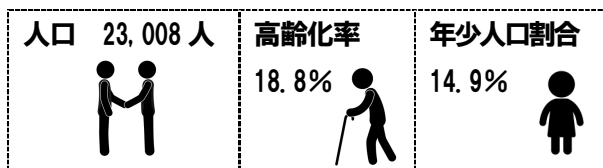


前林地区

地区の概況

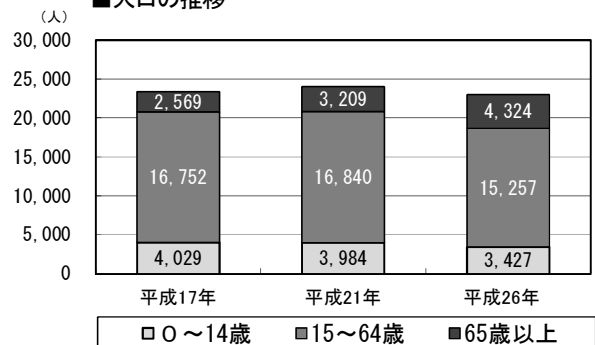
前林地区は、市の南西部に位置し、刈谷市、知立市、みよし市と隣接しています。逢妻女川、男川が合流する水が豊かな土地であり、田畑、果樹園などが広がっています。

■地区の概況



平成26年10月1日現在

■人口の推移



地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 隣近所の人たちとあいさつ、交流ができています。地域の行事には子ども、若者もともに参加する機運があり、ふれあいの機会が充実しています。
- 野菜づくりや朝市の開催など、食や農業を通じたコミュニケーションの機会があります。
- 地域住民、老人クラブなどにより、子どもへの見守りにしっかりと取り組んでいます。
- 老人クラブの加入率が高く、活動も活発に行われています。民生委員によるひとり暮らし高齢者の見守りも行われています。
- 逢妻女川を中心に、自然が豊かで住環境が良い地区です。
- 交通事故の心配が少なく、また、地域内で子どもが安心して遊べる、安全な環境があります。

地区の困りごと

- 子どもと高齢者、既存の住民と転入してきた住民など、それぞれの交流をもっと活発にする必要があります。
- アパート、マンションなどの集合住宅の入居者の情報は把握できにくくなっています。
- 買い物できる場所、病院、公共交通機関など、生活するための施設・機関が乏しくなっています。
- 地区内の通過交通が多く、騒音や事故の危険性があります。
- ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯については、増加しているものの、地域内で情報が共有されていません。
- 高齢化が進むことで、地域活動の担い手の高齢化、老人クラブの加入者の減少などの課題が見られます。

支え合い 助け合い 安心して定住できる最高のまち

地域住民の全員が顔なじみとなり、一人の住民が困っていたらみんなで助け合え、ずっと安心して住み続けられるような前林地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① 多くの人とふれあい、交流できる機会をつくろう！

誰もが参加できる行事・イベントを企画、開催しましょう。組単位など、より身近な範囲で開催していくことで、既存の住民と転入してきた住民との交流を深める視点も持って進めましょう。また、実施にあたっては、子ども、若者、青壮年、高齢者など、多くの人に魅力を感じてもらえるような企画に努めましょう。

② 高齢者の生きがいがづくりや見守り・支援を充実しよう！

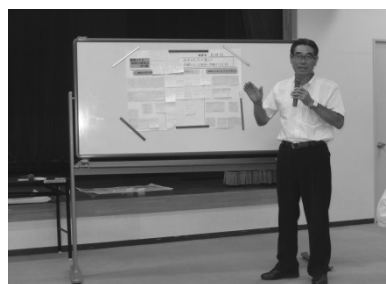
高齢者ができる限り自立した生活を営めるよう、地域みんなで介護予防活動に取り組みましょう。また、農業などを活用した生きがいがづくりや仲間づくりなど、地区の特色や資源を活かした活動を進めましょう。さらに、高齢者マップなどの作成・活用により、ひとり暮らし高齢者を地域で把握し、日常的な見守りを進め、支援につなげやすい体制をつくりましょう。

③ 誰もが集える居場所をつくろう！

人々が交流を行うとともに、ひとり暮らし高齢者の安否確認などを行う機会としてサロンを活用しましょう。また、地域の喫茶店や、住民の自宅など、様々な地域資源を活用して、より多くの居場所づくりを進めましょう。

④ 地域の団体・組織間で連携を強めるとともに、後継者を育成しよう！

地域内の様々な団体・組織において、連携し合いながら、地域の身近な課題の解決策を協議しましょう。また、団体・組織で協力し合って、人材の発掘やリーダーの育成を進め、活動の担い手増加を図りましょう。さらに、広く地域住民に対し、自治区や地域団体・組織などの役割等を周知し、理解を促進しましょう。

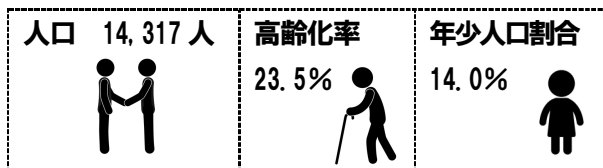


若園地区

地区の概況

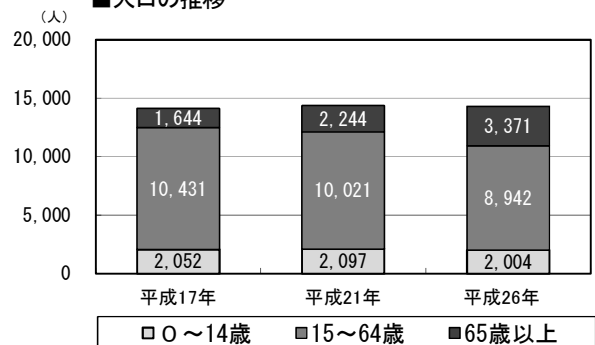
若園地区は、知立市、安城市に隣接しています。名鉄三河線沿線を中心に住宅密集地があり、その他、田畑が広がる地域があります。

■地区の概況



平成26年10月1日

■人口の推移



地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 隣近所でつながりができており、旅行などで家を空ける際の声かけなども気軽にできています。
- 自治区の活動が活発で、「そうじの日」などへの参加者も多くいます。組、班の協力体制ができています。
- 多世代の交流サロンができ、多くの人が参加しています。ふれあいサロンの活動も充実しています。
- ボランティア活動が活発で、各地区で様々なグループが活躍しています。
- 防犯活動や防災活動を活発に行っており、地域に定着してきています。



地区の困りごと

- ひとり暮らしや高齢者のみの世帯が増加しています。閉じこもりがちの人も見られますが、一方で老人クラブの加入者が減少していることなどの課題があります。
- 地域活動組織の役員のなり手がいません。若い世代が地域活動に参加しなくなっています。活動の存続のためにも、より多くの人の参加を促進する必要があります。
- 子どもが少なくなってきたり、地域の活力が低下するおそれがあります。未婚の若い男女も増えており、地域の将来が心配です。
- 将来的に車が運転できなくなった場合に、通院、買い物ができなくなるのではないかと不安があります。
- 不法投棄や、ごみステーションでのマナーの悪さ、公園のトイレへのいたずらなどの問題が見られます。

★ふれ愛とつながり 健康で交流のあるまち キラリ若園★

常日頃から人と人がふれあうことができ、いつまでも健康で心と心が通い合うことができるような光輝ける若園地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① より多くの人の参加による防犯活動を進めよう！

登下校時の子どもたちへの声かけ、あいさつや、日常的な見回りなどを通じて、不審者の発見や生活マナーの向上、安全な地域づくりにつなげましょう。また、旅行などで長期的に家を空ける場合は隣近所の人に声かけを行い、見守り、見回りをお願いするなど、より多くの人が参加して安全・安心なまちづくりを進めましょう。

② 誰もが参加できる場所と機会をつくろう！

サロンなどのふれあいの場所づくりを継続するとともに、誰もが参加できるイベントを開催しましょう。実施にあたっては、体の不自由な人でも参加できるよう配慮しましょう。また、閉じこもりがちな人への声かけや、車に同乗して一緒に参加することなどで、たくさんの人の参加を促進しましょう。

③ スポーツ、運動などで健康づくりを進めよう！

地域において、スポーツの機会づくりや、体力向上のための健康づくりイベント等を開催し、高齢者の体力の維持・向上を進めましょう。

④ 得意なことを地域活動に活かそう！

地域内で、特技や技術を持つ人を登録するなどし、地域活動で活躍できる仕組みをつくりましょう。「できること・得意なこと」と、「手助けしてほしいこと」を結びつけることで、一人ひとりの生きがいづくりと地域の福祉課題の解決につなげましょう。

⑤ 地域の団体・組織を魅力的なものにしよう！

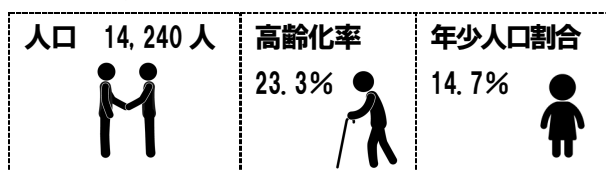
地域住民へのアンケートの実施や、意向・ニーズの聞き取りなどを行い、住民の意向に合わせた地域団体・組織づくりを進め、より魅力的にしましょう。また、団体・組織内の体制においても、年代別の相談員の配置や、活動の優良事例の紹介などを試みることで、住民のニーズに応じた活動ができる仕組みを構築しましょう。

猿投台地区

地区の概況

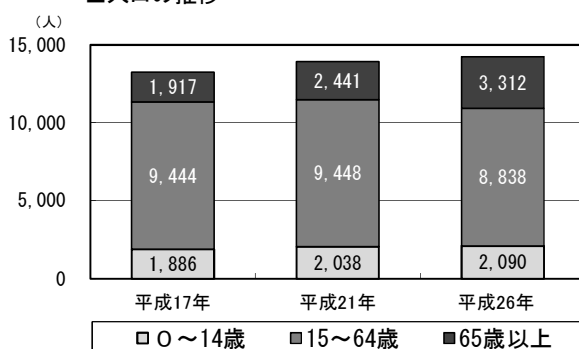
猿投台地区は、豊田市の中でも住民にとって子育てしやすい地区、住みやすい地区です。工業団地、駅、スーパーなどもあり、活気ある地区となっていますが、矢作川沿いの水と緑が豊かな環境もあります。

■地区の概況



平成26年10月1日

■人口の推移



地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 近所付き合いが気軽にできる範囲でまとまりがあるため、地域の活動に住民が協力的で、多くの人が地域行事に参加しています。
- 老人クラブの活動が活発に行われており、高齢者が元気なまちです。高齢者の居場所づくりも進んでいます。
- 中学生や高齢者、障がいのある人など、様々な人が気軽にあいさつできる地区です。
- 子どもの見守りに力を入れており、また、住民による防犯パトロールも行っています。
- スーパーや駅があり、交通アクセスも良く、便利な地区です。
- 自然が豊かで緑も多く、高台からの眺望などの景観が美しい地区もあります。

地区の困りごと

- 近所付き合いが希薄になってきています。以前より人口が増えたことで、地域の課題なども見えにくくなってきています。
- アパートなどの単身世帯用の住居が増え、誰が住んでいるのか、地域の人も把握できなくなっています。
- 若者が自治区に加入しなかったり、自治区の役員の選出に苦慮したりしています。
- 坂が多く、高齢者は外出が大変になってきています。道幅が狭いところでは交通事故の危険もあります。
- ひとり暮らし高齢者や、高齢者のみの世帯が急激に増えています。また、身寄りのない人や、ひとり親家庭なども見られるようになっていきます。
- 不審者や消費者被害が増加しているため、犯罪に巻き込まれるなど、万一の時のことが心配です。

笑顔とあいさつがあふれ、みんなが家族 猿投台 ～ご近所の顔が見える仕掛けづくり～

地域に住む一人ひとりが笑顔で過ごしながら、お互いに支え合える大きな家族となれるよう、向こう三軒両隣の絆のある猿投台地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① 人が集まる仕掛けをつくろう！

井戸端会議や、隣近所の人を招いたお茶会など、身近ですぐにできることから始めてみましょう。月1回行われている、全世帯が組長宅に集まるような機会を活用して、どんどん人を集めましょう。また、行事やイベントは、地域の人が一同に会して交流できる絶好の機会です。自治区の活動に誰もが積極的に参加する機運を高めるとともに、多世代が交流でき、参加したくなる企画を工夫しましょう。

② 高齢者を見守る仕掛けをつくろう！

隣近所に住むひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯に対し、見守りや声かけをしましょう。身近な地域で、高齢者への災害時の連絡や、日頃からの高齢者の見守りを行う組織づくりについても検討を進めましょう。また、高齢者自身も見守りの担い手となれるよう、健康づくりや老人クラブなどの団体活動を活発にしていきましょう。

③ 誰もが地域の情報を受け取ることができる仕掛けをつくろう！

様々な地域の情報を、住民に発信できる仕組みをつくりましょう。情報の配布の際を活用してコミュニケーションを図ったり、また、外国人住民も地域の情報をきちんと受け取れるような仕組みをつくったりし、誰もが情報を取得できる環境づくりについて検討しましょう。そうすることで、困っている人を見逃さない地域づくりを進めましょう。

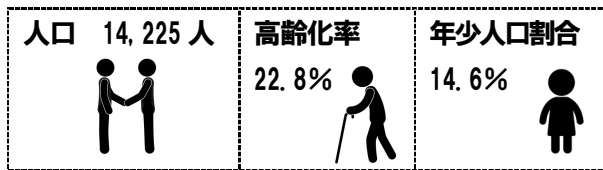


井郷地区

地区の概況

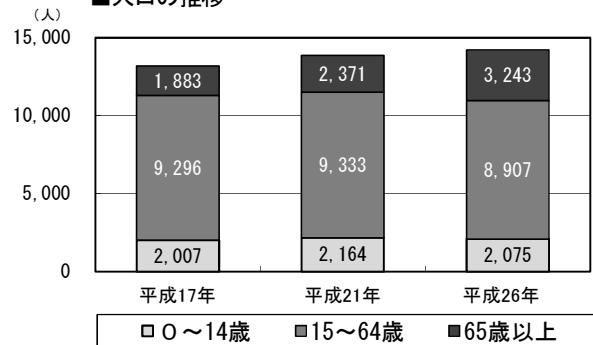
井郷地区は、旧猿投町の中心エリアとして発展してきた歴史があります。人の集まる施設等が存在する賑わい豊かな地区と、水無瀬川緑道などの緑豊かな地域資源がある地区です。

■地区の概況



平成26年10月1日

■人口の推移



地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 自治区の活動に多くの人に関わって、助け合いながら取組を進めています。地域単位で運動会や盆踊りなどの行事も継続しています。
- 農村気質が残ри、隣近所とのつながりが強い地区です。また、新たな住民もあたたかく受け入れています。
- 高齢者が活躍する場や機会があるので、高齢者が元気です。
- 子どもたちが地域の人に元気にあいさつしています。子どもの声が聞こえる活気あふれる地区です。
- 水無瀬川周辺が整備されるなど、緑が豊富で住環境が整っています。水害や土砂災害の危険も少なく安心して暮らせる地区です。
- 交通網や公共施設が充実しており、便利な環境です。街路灯の整備や、「ゾーン30」（時速30km制限のある区域設定）の展開などにより、安全面でも取組が進んでいます。

地区の困りごと

- ひとり暮らし高齢者や、認知症の高齢者、高齢者のみの世帯が増加しており、見守りなどの対策が必要です。
- 若者が地域活動にあまり参加していません。地域組織の役員や担い手が不足しています。
- 空き家や耕作放棄地の増加などがみられます。一方、宅地化が進む地域では、緑地の減少や、アパートの増加などで地域交流をしない人の増加が課題です。
- 若者が、ゲームやスマートフォンばかりで遊んでいる姿がよく見られます。
- 不審者の増加や、通過交通の増加による騒音、ごみ捨てのマナーが守られていないことなど、安全で快適な生活を脅かす問題が見られます。
- 車の運転ができないと買物に行けません。高齢になって、運転できなくなった時が不安です。

笑顔で声かけ、見守り、 生きがいをもって棲み続けられる い〜さと

地域の全ての宝（人・物・自然）が、互いに共存共栄し、いつまでも、イキイキと棲(す)み続けられるような井郷地区。そんな良い里（い〜さと）を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① 様々な世代が参加しやすい行事・活動に取り組もう！

組単位での交流会や、お祭り、運動会、盆踊りなどの様々な人が参加しやすい行事を開催し、世代交流を図りましょう。より幅広い世代に参加してもらうために、機会をとらえた若者への働きかけや参加しやすい雰囲気づくりに努めましょう。

② 小さなグループをたくさんつくり、ボランティア活動を活発にしよう！

地域内でボランティアグループをたくさんつくり、活動を活発にしましょう。その際には、一人ひとりの特技や技術などが活かされるよう、様々な分野での組織化を検討しましょう。

③ 高齢者への声かけや見守りを活発にしよう！

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯に対して声かけ、見守りを行うとともに話し相手や相談相手になり、高齢者が孤立しない地域づくりを進めましょう。手助けが必要な高齢者に対しては、日常生活の買い物や家の修理などを支援しましょう。

④ 子どもが元気に遊べる地域にしよう！

子ども会、ジュニアクラブの活動や、世代交流のイベント、子どもとその保護者を対象にした地域活動などを活発にし、地域全体で子どもを守り、育てる機運を醸成しましょう。

⑤ 安全・安心、快適な住環境をつくろう！

ごみ拾いなどの環境美化活動や防犯パトロール、事故防止のための周囲への働きかけなどにより、安全・安心で快適な地域づくりを進めましょう。

⑥ 地域の課題をみんなで共有しよう！

地域の課題を見つけた時は、小さなことでもみんなで共有しましょう。地域内で話し合いを持ち、地域課題を解決するための組織づくりに取り組みましょう。また、一人ひとりが地域住民としての責任と義務を果たせるよう、地域活動の重要性・必要性の啓発などに取り組みましょう。

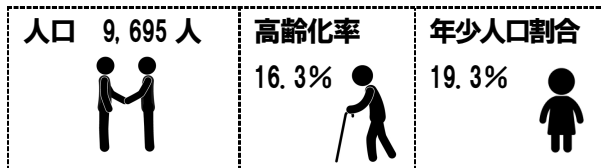


猿投地区

地区の概況

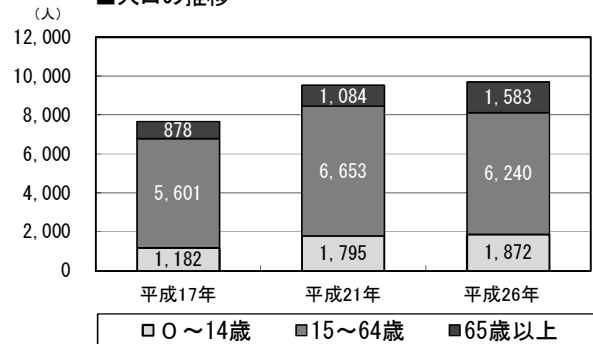
猿投地区は、霊峰・猿投山の山麓に広がる地区で、豊かな自然と多くの史跡があります。登山などで訪れる人も多く、観光資源なども豊富な地区です。

■地区の概況



平成26年10月1日

■人口の推移



地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 地域の中で助け合いや近所付き合いができており、新旧の住人が互いに交流する、人と人とのつながりがある地区です。
- 老人クラブや憩いの家での活動など、高齢者がいきいきと活躍しています。
- 高齢者による清掃活動や地域のサークル活動など、様々な団体の活動が盛んに行われています。
- 子どもたちが素直で元気です。子どもたちのボランティア活動なども活発に行われています。
- 自然が豊かであり、のどかな田園風景が広がる静かな環境があります。桃などの農産物も豊富です。
- 周りに知り合いが多く、夜間でも一人で外出できるほど安全・安心な地区です。

地区の困りごと

- 地域行事に参加する人が減り、また、参加も義務的であったりするので、コミュニケーションの機会が乏しくなっています。全般的に、地域活動への参加意識が低下しています。
- 農業の後継者や、家の跡継ぎがいない家庭が見られます。少子高齢化が進むことで地域の活気がなくなるのではないかと心配です。
- 公共交通機関が少なく、車がないと生活できません。近くに病院や商店がない地域では、将来の生活に不安があります。
- 悩みごとがあっても世間体を気にして相談をしない人や、そもそも相談することを諦めてしまう人がいます。
- 道幅が狭い道路での交通事故や、空き巣被害の増加など、地域の安全を脅かす問題が見られます。

さ **そ**い出会い**え** **え** **な** **か**良く声がか**け** **合**える **げ** **ん**きに**み**ん**な**が暮ら**し** **続**けられる**ま**ち

道で会っても気軽に声をかけ合えることができ、出かける時には誘い合えるような、いつまでも仲良く、元気に暮らしていくことができる猿投地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① 様々な活動を通じて仲間づくりを進めよう！

元気に暮らし続けられるまちづくりのためには、自分自身がいきいきと活動することが大切です。年齢や、好きなこと、得意な分野などに応じて、一人ひとりが生きがいを持って取り組める地域の活動を見つけ、その中で仲間をたくさんつくりましょう。

② 子どもと高齢者の相互で交流を図り、見守り、支え合う関係をつくろう！

子ども会、老人クラブ合同での行事開催や、学童保育へ的高齢者ボランティアの参加、学校での給食時間を使った子どもと高齢者の交流などを行い、地域内の子どもと高齢者間で、顔の見える関係をつくりましょう。そして、地域での子どもの見守り、高齢者への手助けなどが、自然にできる地域にしましょう。

③ 地域全体で仲良くなろう！

住民同士が知り合い、信頼関係を深めるきっかけとして、バーベキューや茶話会などで一緒に食事やお茶をする機会を増やしましょう。また、既存の行事や、防災関係の取組など、地域の人が多く参加する機会をとらえて、子どもから大人まで、地域に住む誰もがふれあうことができる交流の機会をつくりましょう。

④ 地域活動を動かす担い手をつくり、みんなで支える仕組みをつくろう！

地域活動を活発にするために、地域内でのリーダーの発掘・育成に取り組みましょう。若い世代でも活動を担えるような仕組みづくりや、リーダーを支える地域活動の組織体制づくりを進めましょう。

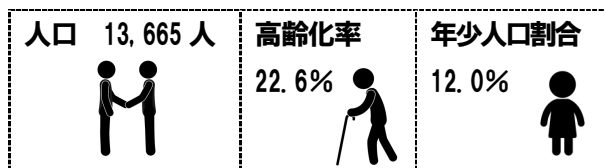


保見地区

地区の概況

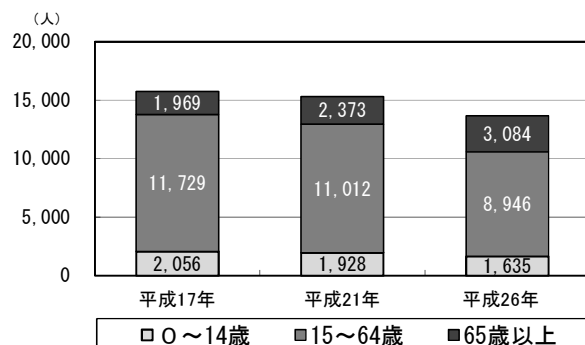
保見地区は、豊田市でも最も外国人住民の割合が高く、国際色が豊かな地区となっています。自然が豊かで、大学生も多く生活しています。

■地区の概況



平成26年10月1日

■人口の推移



地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 近所との関係が良好で、顔の見える関係ができています。
- 伝統行事の継承や、ボランティア活動、地域での防犯パトロールなど、地域活動が活発に行われています。
- 老人クラブによるあいさつを通じた見守り活動が行われており、子どもが安心して登下校できています。
- 地域内でひとり暮らし高齢者への見守りや声かけなどが行われています。「ふれあい会食会」などのボランティア活動も活発です。
- 学校や医療機関、公共施設が身近にあり、暮らしやすい地区です。
- 外国人住民とのあいさつが自然にできており、学校行事等も2か国語が用いられています。外国人住民にとっても住みやすい地区です。

地区の困りごと

- 少子高齢化が進み、高齢者世帯の増加、空き家の増加といった課題が見られるようになっていきます。しかし、地域関係の希薄化などを背景に、地区内のひとり暮らし高齢者は把握が困難になっています。
- ごみ出しのマナーや交通ルールなどが守られていないことがあります。
- 高齢化によって車の運転ができなくなった場合の買い物などに不安があります。特に団地内は坂道が多いため、外出が大変になることが予想されます。
- 生活習慣の違いや言葉の壁により、外国人住民とのコミュニケーションが難しい場合があります。



みんなが助け合い、語り合える保見 ～気軽に元気で出かけよう～

地域住民の助け合いや語り合いが更に進み、国際色豊かなこの地域が、今以上に元気で、住み心地の良い保見地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① 地域みんなで高齢者の健康づくりや介護予防に取り組もう！

定年退職後の地域活動の仲間づくりや、自ら取り組むことができる体操などの健康づくり、介護予防活動などを促進し、高齢者ができる限り自立した生活を送ることができる地域にしましょう。また、認知症サポーターの増加や、徘徊高齢者を早期発見するための地域での体制づくり、消費者被害の防止などに、地域ぐるみで取り組みましょう。

② 外国人住民との交流を活発にしよう！

外国人住民が、地域の一員として日本人住民とともに地域活動に参加することができるよう、日頃からの交流を活発にしましょう。組織・団体の役員への登用や、外国人住民の意見を聴く機会を設けるなど、相互の理解を進めましょう。

③ あいさつを通じて子どもたちのつながりを強めよう！

老人クラブで実施しているあいさつ運動や、日頃からの子どもの見守り活動などを通じて、地域の子どもと自然に交流できる地域づくりを進めましょう。

④ 地域福祉活動を活発にする土壌をつくろう！

地域の活動を進めるリーダーの育成や、地域福祉活動の担い手づくり、ネットワークの強化を進めましょう。また、活動に当たっては、集会所を有効に活用しましょう。

⑤ 誰もが参加できる楽しい行事・イベントを開催しよう！

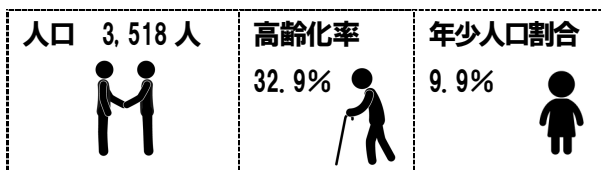
地域の子どもも、高齢者も、障がい者も、そして外国人住民も、誰もが別け隔てなく参加し、楽しむことができるパーティーなどの機会をつくりましょう。そのような機会は、できるだけ身近な単位で実施し、人とつながる良いきっかけにしていきたいと思います。

石野地区

地区の概況

石野地区は、全体的に自然豊かな地域です。矢作川の水辺と緑などの豊かな自然があり、万燈まつりや竹細工、石野歌舞伎などの伝統が受け継がれています。

■地区の概況



平成 26 年 10 月 1 日

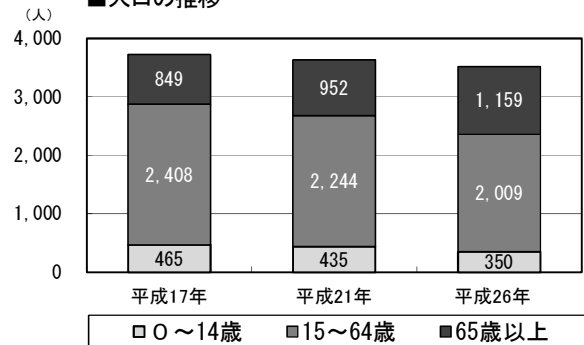
地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 近所付き合いができており、月に1度は必ず全世帯が集まる機会があるなど、住民同士の連帯感がある地区です。
- 家を建て、石野地区に引っ越してくる若い世代が増えています。若い世代が地域活動に参加し始めており、活動に活気が出ています。
- 子どもたちが元気にのびのびと育っており、元気にあいさつもできています。
- 自然が豊かで景色が良く、騒音、犯罪が少ない、暮らしやすい地区です。消防署、郵便局、交流館などの公共的施設もかたまっており、比較的利便性が良い地区です。
- 農業に携わる元気な高齢者が多く、健康的な生活を送ることができています。



■人口の推移



地区の困りごと

- 未婚の若者が増え、跡継ぎがいない世帯もあります。また、地域の若者自体も減少しており、高齢化が心配です。
- 地域組織の役員のなり手が不足しています。また、地域の人数が少ないところでは役員がまわってくる機会が多く、一人ひとりにかかる負担も大きくなっています。
- ひとり暮らし高齢者が増加しており、車の運転ができない人も多くいます。地区内に病院や介護事業所等が少ないため、将来、介護や医療が必要になった場合の不安が残ります。
- 子どもたちの通学路での交通安全対策や、災害時の支援体制について取り組む必要があります。
- 耕作放棄地が増えています。また、イノシシなどによる農作物への獣害も見られます。

みんなが安心を感じ 健康で 気軽に 住みやすい山里 石野 ～人ともものが流れる 豊かなふるさとづくり～

山里らしいゆったりとした気持ちや地域性を大切にしながら、人と人が交流し合うことによって文化や歴史、知識や経験がつながり合える石野地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① 次世代の地域を担う、若者の活躍を促進しよう！

現在、取組が始まっている若い世代の地域活動をより活発にしましょう。新しく地域に引っ越してきた人や、30 歳代、40 歳代などの新しい風を地域活動に取り入れるとともに、若い世代のパワーを活かし、支援する環境を整えましょう。

② 地域の暮らしやすさをPRし、住民を増やそう！

地域の人口減少や少子化への対策として、地区の住みよさや便利さ、快適さをPRし、転入者の増加を目指しましょう。また、地域の独身者を対象とした婚活などにも取り組み、地区を担う若い世代を増やしましょう。

③ 地域ぐるみで防災対策に取り組もう！

年1回の防災訓練に住民ができるだけ参加するとともに、日頃から危険か所の確認・把握を行いましょう。災害発生危険か所やその周辺は、災害時に被害が拡大しないように、日頃からみんなで整備を進めましょう。

④ 隣近所や地域で集まり、コミュニケーションをとろう！

地域行事への参加や、隣近所、地域の人が集まる機会を活用し、多くの人とコミュニケーションを図りましょう。その際は、子どもや若者、高齢者や障がい者など、様々な人と交流をし、理解し合いましょう。

⑤ たくさんの人の目で、地域の安全をつくろう！

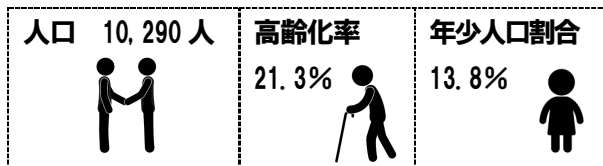
周囲の人と常日頃から交流し、出かける際には声かけをしておくなど、不審者や犯罪者が入りにくい地域をつくりましょう。また、地域内の危険な所や、高齢者や障がい者にとって不便だと思われるところは、積極的に情報を共有し合って、目配り、気配りをしましょう。

松平地区

地区の概況

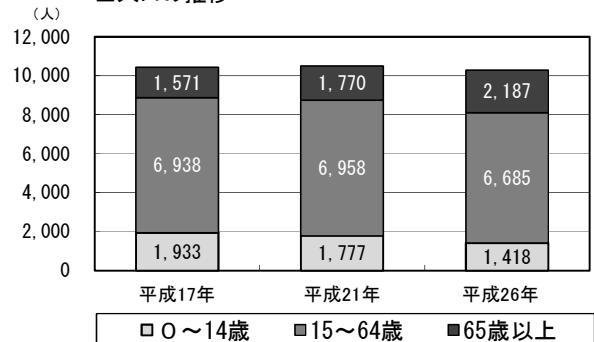
松平地区は、岡崎市に隣接しており、歴史、文化の残る地区です。地区の東側は山間部で自然が多く残っています。

■地区の概況



平成26年10月1日

■人口の推移



地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 隣近所とのコミュニケーションがとれており、あいさつ、声掛け、見守りができている地区です。
- 新規転入者を快く受け入れており、子育て世代同士の交流も盛んです。若い世代もコミュニティの役員として活躍しています。
- 自治会の規模が適切でまとまりがよく、地域行事への参加率も高くなっています。
- 子どもたちが素直であいさつがしっかりとできています。
- 緑が多く空気がきれいです。巴川が流れ、自然も多く、気持ちが癒される快適な環境があります。
- 松平東照宮、松平太鼓、手筒花火などの名所・史跡や伝統文化がたくさんある地区です。伝統もしっかりと継承されています。

地区の困りごと

- 地域活動に無関心な人も増えています。人との関わりを避ける傾向が見られるなど、人間関係が希薄になっているところがあります。
- 結婚しない若者の増加や、子どもの減少、後継者の不足などがあり、地域の活力が低下する不安があります。
- 地区内に医療機関、商店、介護サービス事業所などが不足しています。公共交通機関も限られるため、将来の生活が心配です。
- 農作物への獣害や、後継者不足による耕作放棄地の増加など、農業を取り巻く課題があります。



挨拶と笑顔にあふれ いつまでも住み続けられる松平

～コミュニケーションが豊かで イキイキとした地域力を感じるまち～

歴史と文化が受け継がれているこの地域が、人と人とのつながりを基盤に更に充実し、みんなの力と思いを結集しながら安心して暮らしていける松平地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① コミュニケーションの機運をつくろう！

地域の人へのあいさつから始め、人と人がコミュニケーションを図る機運をつくりましょう。外に出て地域の人と関わる時間を持ち、ひとり暮らしなど、隣近所に気になる家庭がある場合は、積極的に声掛けをしていきましょう。

② 地区内で「助け合いの制度」をつくろう！

ひとり暮らしの高齢者や障がい者など、手助けを必要とする人に対し、買い物の支援や、自宅周辺の環境整備、通院などの移動の支援を行う「助け合いの制度」をつくりましょう。制度が、定年した人などの生きがいづくりとしても機能するよう、組織づくりを進めましょう。

③ 松平地区の良好な環境を守る取組を進めよう！

ホタルが住めるように環境美化活動を進めるなど、松平地区の良好な環境を守る取組を活性化させ、それらの活動を通じた世代間交流や子どもたちへの地域教育を進めましょう。その他、伝統文化の継承活動など、地域の資源を有効に活かし、世代間交流に取り組みましょう。

④ 多くの人が参加する、魅力的な行事・イベントを実施しよう！

子どもや若者、高齢者など、地域の多くの人が参加でき、一緒に楽しめるような行事を企画・実施しましょう。実施に当たっては、スポーツ大会、健康づくりの機会、転入者の紹介の場など、様々な切り口で実施し、ふれあいの機会を拡大していきましょう。

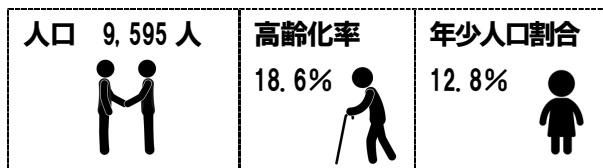


藤岡地区

地区の概況

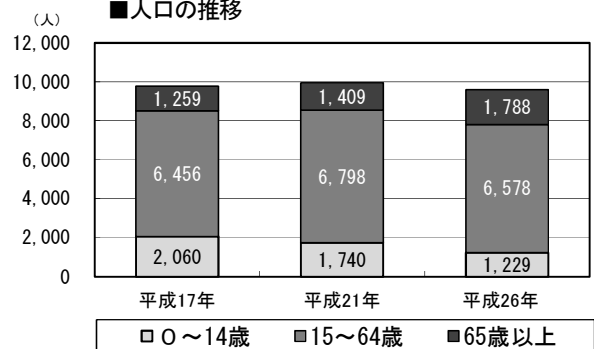
藤岡地区は、豊かな自然に囲まれた地域です。地区内には、ふじの回廊を始め、季節に応じた見所がたくさんあり、また、石畳ふれあい広場の足湯など、ゆったりと過ごせ、交流できる場所や、自然にふれあえる場所もたくさんあります。

■地区の概況



平成26年10月1日

■人口の推移



地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 隣近所で交流があり、日頃のおすそわけや、組単位での親睦会などを行っている地域があります。
- 自治区の行事に多くの人に参加しており、また、地域活動が盛んに行われています。
- 車の通りがやや多いものの、自然環境が良く、犯罪も少ない、住んでいて心地良い地域です。
- ボランティア活動が活発に行われています。また、子どもへの登下校の見守りも行っており、子どもと大人が気軽にあいさつできる関係ができています。
- 同世代の人が近所に住んでいて話ができて、また2世帯、3世帯同居の家庭も多くあり、家庭内のつながりも深いです。

地区の困りごと

- 住民が増えてきた地域もあり、地元の人と転入者との間で、理解し合うための交流が必要になっています。
- ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯が増加していますが、老人クラブや、地区内の高齢者の集いへの参加が減少しています。高齢者の閉じこもりも心配です。
- 公共交通機関の不便さや、道路の渋滞、商店が遠いこと、子どもが安全に遊べる場所がないことなど、住環境の課題があります。



藤の根のようにみんなが集い つながり支え合う 笑顔あふれるまち藤岡！！

人と人とのつながりや地域での支え合いの想いが藤の根のように広がっていくことで、多くの人が集い笑顔で住み続けられる藤岡地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① できることから、地域の人と交流してみよう！

隣近所の人への野菜のおすそわけや、ひとり暮らしの高齢者との世間話、通学路で子どもを見守ること、笑顔でいろんな人にあいさつしてみるなど、自分でできることから、身近な人との交流を始めてみましょう。

② 様々な範囲で集まる機会をつくろう！

自治区、組単位での親睦会、世代を問わないお楽しみ会や井戸端会議など、様々な人と出会い、交流する機会として、身近な単位から組織・団体単位などで集まる機会をつくりましょう。また、コミュニティの様々な行事や活動には、積極的に参加しましょう。

③ 高齢者や障がいのある人について理解しよう！

地域で暮らす高齢者や障がいのある人について、生活の中で不便を感じていること、不安に思っていることなどを理解し、支援や見守りをしながら、いつでも助け合えるようにしましょう。

④ 組織間の連携を強化しよう！

地域内で活動する組織・団体間の横のつながりを強め、連携して様々な活動に一緒に取り組んだり、それぞれの分野の活動を把握し合ったりすることで、より効果的な活動につなげましょう。また、より多くの人々が地域の組織・団体に加入するように促しましょう。

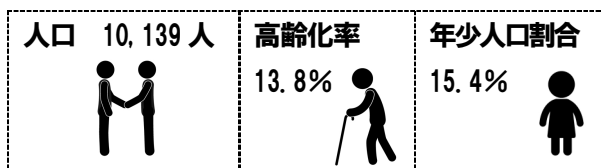


藤岡南地区

地区の概況

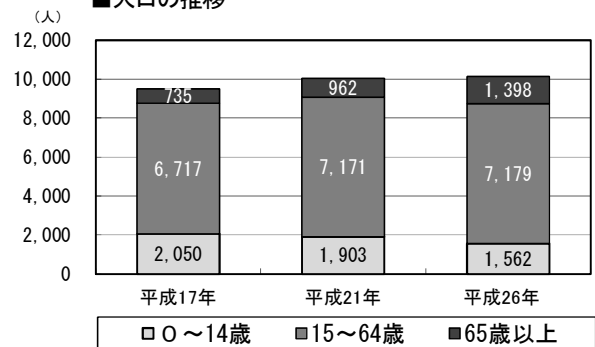
藤岡南地区は、東海環状自動車道豊田藤岡インターチェンジを有し、車での広域交通の利便性が高い地域です。人口も増加傾向で、高齢者の人口よりも年少人口の方が多く、比較的若い年齢層の、活力あふれる地区となっています。

■地区の概況



平成26年10月1日

■人口の推移



地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 住民の協力体制があり、助け合える機運ができています。
- 子どもたちが素直で礼儀正しく、しっかりあいさつを返してくれます。
- インターチェンジが近く、またおいでんバス等の交通の便も良いです。
- 自然に恵まれ、快適な環境です。
- 住民間の交流も良好で、地域活動も活発です。地域の活動に対して住民がとても協力的です。



地区の困りごと

- 高齢者の交流の機会が少なくなっています。また、高齢になって車の運転ができなくなった時に、交流の場や様々な場所に出かけられなくなることが心配です。
- 新しい住民も増え、近所の住民間でのコミュニケーションが、やや不足しているところもみられます。
- 車の交通量が増え、道路や歩道が未整備のところなどでは事故が心配です。
- 外で子どもたちが遊ぶ姿を見かけなくなり、安心して遊べる場所が少なくなっています。

みんなの力とみんなの声を感じながら ふれあい豊かに住み続けられるまち

お互いが自然に挨拶でき、助け合える力を育て、ふれあいを大切にしながら心豊かに住み続けられる藤岡南地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① 「あいさつ」から交流を始めよう！

あいさつは、人とつながる第一歩です。まず、自分からまわりの人にあいさつをしてみること、そしてあいさつをされたらきちんと返すことを心がけ、あいさつから始まる地域づくりを始めましょう。

② 学校とともに地域の子どもを見守り、育てよう！

地域の子どもへの声かけや見守りを行うとともに、小中学校との交流を深め、地域の学習などを支援し、地域でも子どもたちを育てましょう。また、子どもが参加しやすい地域の行事やイベントを考えるなど、子どもを含めた多世代で一緒に参加できる機会を増やしましょう。

③ 地域の行事やイベントに積極的に参加しよう！

藤岡南地区の自慢できる場所として、人々の協力関係ができていることがあげられています。地域の行事や、イベント、活動に積極的に参加するとともに、自分の意欲や得意分野を活かして地域活動を活発にしましょう。

④ 高齢者の元気づくりや見守りに取り組もう！

高齢者が健康で過ごせるよう、一緒に取り組める健康づくり活動や集える場づくりを進めましょう。また、ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯への見守りなどについて、多くの人の参加の下で仕組みをつくり、住みやすいまちにしましょう。

⑤ 住民懇談会などを通じて、みんなで地域課題を共有しよう！

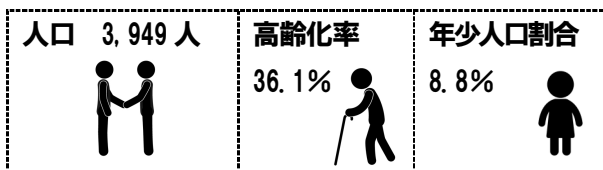
活動に当たって、区の代表者だけでなく、区民全員が参加し決定できるような仕組みをつくりましょう。そのために、住民懇談会などの、多くの人が参加でき、様々な地域課題やその解決策を共有できる機会を充実しましょう。

小原地区

地区の概況

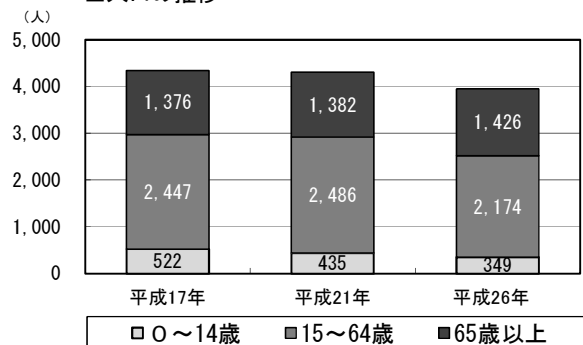
小原地区は、秋にも咲く四季桜で有名な、様々な花や美しい自然に囲まれた地区です。和紙づくりや陶芸などの、伝統的な文化が息づいています。

■地区の概況



平成26年10月1日

■人口の推移



地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 隣近所みんなが顔見知りで、地域のつながりが強い地区です。
- 家のカーテンの開け閉めや、地域内の配布物の確認、日頃の声かけなど、ひとり暮らし高齢者の見守りや安否確認の工夫をしています。
- 高齢者が元気で、地域の様々な場面で活躍しています。
- 雪かきや草刈後の親睦会などを通じて、地域でコミュニケーションを図っています。
- 空気がおいしく、四季桜やホタルが見られ、騒音もなく静かで、自然豊かな住み良い地区です。
- 地区内に福祉施設や往診をしてくれる診療所もあり、安心して暮らせる環境が整っています。

地区の困りごと

- 子どもや若者が少なく、ひとり暮らし高齢者の家庭が増えています。将来的な、更なる少子高齢化が心配です。
- 気軽に利用できる公共交通機関が少なく、車の運転ができないと医療機関などまで行けないため、生活が不便です。
- 地区内には、総合病院、薬局、本屋、レストランなどの施設がありません。働く場所も少ないため、若者の更なる流出が心配です。
- 農業従事者の高齢化が進んでおり、後継者不足のため農地の管理ができにくくなっています。
- 災害時の緊急支援体制や、土砂災害などの不安があります。



小原はひとつ！互いに助け合う “活気”に満ちたまち

みんなの和で、お互いが助け合うことができる地域社会づくりを進めることで、この地区で暮らし続けたいと思えるような、活気ある小原地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① 小原地区に子どもや若者を増やそう！

少子高齢化が進んでいる小原地区では、特に子ども、若者に定住してもらうための工夫や人を呼びこむ魅力ある地域づくりが必要です。日頃の交流を通じて、子どもたちのふるさと意識を育むことや、地区の魅力のPR活動、地区外の若者を呼んでの婚活など、小原の自然や環境を活かした居住誘導・定住促進に向けた取組を進めましょう。

② 高齢者が安心して暮らせる環境をつくろう！

高齢者が安心して暮らせる地域づくりのため、周囲の見守り、気配り、声かけを促進しましょう。回覧板を手渡しにしたり、地域行事へ誘い合って参加したりするなど、様々な日頃の工夫に取り組みましょう。また、地区内での送迎サービスや、買い物、灯油入れ等のちょっとした手伝いができるようなボランティアの仕組みをつくりましょう。

③ みんなの力で地域農業の存続を目指そう！

地区内の耕作放棄地を解消するため、既存の農地を活用した貸農園や、都市部の人が農業について学べる場づくり、地区内の農家が協力し合って、農地を活用できる仕組みづくりなど、様々な取組によって、地域農業の存続を目指しましょう。

④ 地区内の福祉施設・企業とともに活動を進めよう！

地区内の福祉施設や企業は、大切な財産です。一緒に活動を行ったり、施設の行事に地域の人に参加したりすることで、お互いに活動を理解し、共働の取組ができる環境をつくりましょう。

⑤ 地域活動をより活発にするための組織を強化しよう！

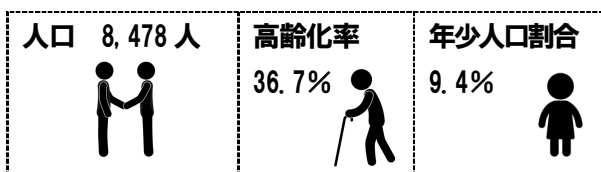
様々な地区活動を活発にするため、組、町内会単位の活動を基本として活動内容を充実するとともに、地区全体で活気に満ちたまちづくりを進めるための地域リーダーの育成や検討の場づくりを進めましょう。また、活動の中では、若者との意見交換を行うなど、多様な意見の取り入れと、担い手の増加を目指しましょう。

足助地区

地区の概況

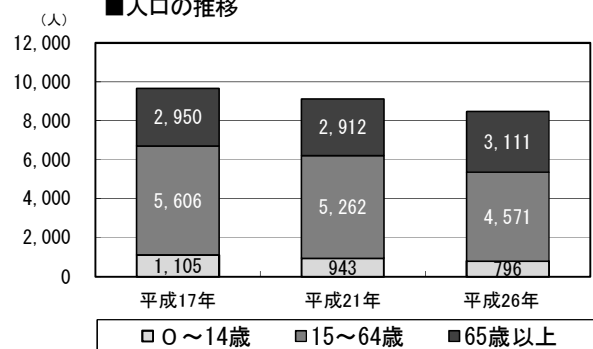
足助地区は、全国的に紅葉の名所「香嵐溪」で有名な地区です。また、塩を山間部へ運ぶための「塩の道」である中馬街道の重要な中継地として栄えた歴史があり、現在も古い町並みの景観を見ることができます。

■地区の概況



平成 26 年 10 月 1 日

■人口の推移



地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 「地区名と名前」でどこの人かがわかるような、密接に人と人とが繋がっている地区です。
- 雪かきなどを隣近所で協力し合ったり、隣の人の顔が見えないと訪ねて聞いたり、身近なところでの助け合いができています。
- 美しい町並みが残るとともに、歴史文化が豊かで、地区の伝統的な祭りや、「棒の手」などがしっかりと継承されています。
- 各地域にサロンが増えてきて、高齢者の集いの場が充実してきました。
- 子どもたちが素直で、また、あいさつもきちんとできています。遅い時間になると、住民による子どもたちへの声かけを行っています。
- おいでんバスが利用でき、交流の場までの移動が容易になりました。

地区の困りごと

- 若者が地区外に転出し、高齢者が多い地区となっています。更に高齢化が進み、認知症の人が増えることなども心配です。
- 若い世代がおらず、担い手も減ってきました。世代交替ができていないので、地区の様々な組織が縮小しつつあります。
- 子どもが少なくなって、小学校の統廃合が進んでいます。また、空き家の増加や田畑の荒廃など、住民が減少することで生じる問題が増えています。
- 道路が狭い、坂が多いなど交通の便が悪いところがみられます。災害時、逃げ道がなくならないか、陸の孤島になってしまうのではないかと心配です。
- 車中心の生活となっているため、車の運転ができなくなった時の買い物などの不安があります。

自然と子どもを育て支えあうまち

地域の宝である子どもを地域で育てていくこと、自然豊かな足助の魅力を大切にすること、過疎化が進む山間地で支え合うことの必要性を、地域全体で考え取り組みます。

私たちができること・していきたいこと

① 足助地区の良さ、魅力を地区内外に発信しよう！

地区の良いところを写真に撮って発信したり、足助地区の魅力を紹介するパンフレットを作成したりし、魅力を積極的にPRすることで地区内に人を呼びこみましょう。また、足助地区で生まれ育った子どもたちがもっと地区のことを好きになるように、楽しい行事やイベント、ふれあいの機会を充実しましょう。

② 子どもと高齢者の交流を活発にしよう！

小中学生が認知症サポーターになったり、介護について学んだりするなど、子どもや若い世代が高齢者のことを知る機会をつくりましょう。さらに、小中学生が高齢者から伝統文化等を学ぶ機会を持つなど、相互に理解し合い、支え合える関係をつくりましょう。

③ 思いやる人間関係をつくろう！

足助地区は地域の絆が強く、人と人とのコミュニケーションがしっかりととれている地区となっています。このような良い取組をこれからも継続していくとともに、あいさつ、声かけ、見守りなどの日常的な交流を中心に、思いやりを持って人と接することができる機運を高めましょう。

④ 集える場所を増やそう！

地区内で、誰もが気軽に寄ることができる場をつくるとともに、多くの人が語り合える機会をつくりましょう。また、子育てを支援する場や、子育てをする親同士の集いの場をつくることで、子育てしやすい足助地区をつくっていきましょう。

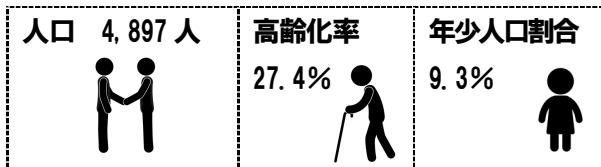


下山地区

地区の概況

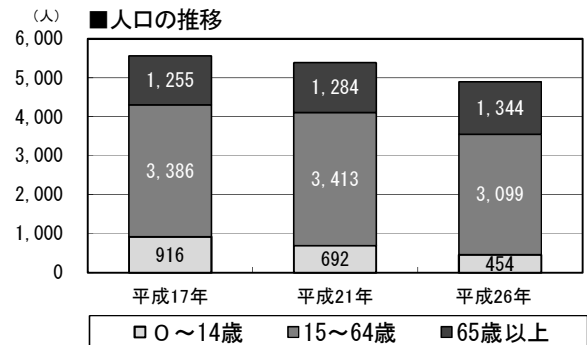
下山地区は、森林が多い自然豊かな地区で、一部が愛知高原国定公園に指定されています。地区内には高原や湖などもあり、四季折々の美しい風景が残る豊かな環境が広がっています。また、古くから住んでいる住民がいる一方、市内大手企業のベッドタウンとして新興住宅地も広がっています。地区面積の4分の1（花山自治区・大沼自治区）に約7割の人が暮らしています。

■地区の概況



平成26年10月1日

■人口の推移



地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 家を留守にしても近所の人が見ていてくれるといった安心感がある地区です。人と人とのつながりが深く、相談など、身近な人同士で助け合える雰囲気があります。
- 地域の行事に多くの人の参加協力があり、伝統芸能も盛んに行われています。また、三河湖等の観光名所もたくさんあり多くの人が訪れます。
- 料理のお裾分けがあつたり、野菜づくりを教えてもらったりと、近所付き合いも良好で、犯罪などの事件が少ない安全な地区です。
- 静かで落ち着きがあり、自然が豊かで空気がおいしく、五平餅や米、野菜などのおいしい特産品もたくさんあり、地区の魅力となっています。また、身近に田畑や山もあり、退職後にも農作業などで働きながら、生きがいを持って暮らせます。
- 比較的市街地に近いことから、通院や買い物などにも便利です。
- 子ども達が地域の人に積極的にあいさつできています。交流を通じて大人が近所の子どもの事を知っているため、子どもも安心して生活できています。また、地域や保護者が学校に積極的に協力しています。

地区の困りごと

- 高齢化率が高まり、子どもが少なくなっており、地域組織の後継者や、自治区や組の役員、農業後継者などが不足し、集落の継続が困難になりつつあります。
- 地区内に働ける場が少なく、若者定住者や嫁いでくる女性が少ないことが課題です。
- 放課後児童クラブが地区に1つしかありません。また、みんなが集える公園等が地区内にないため、子どもの遊び場や子育て中の親同士の交流機会が少ない状況です。
- 主な交通手段は車とデマンドバスとなっています。身近な場所に医療機関や商店が少ないため不安があります。
- 災害時に地区が孤立することが考えられ、ひとり暮らし高齢者も増えていることから、対策を検討する必要があります。
- 道路が狭いところが多くあり、降雪時や緊急時に不安があります。また、歩道がない・街灯が少ないなど危険なところも見られます。

S・O・P

下山・応援・プロジェクト

～語ろう 創ろう 心と絆～

自分の思い（心）を語り合い、固い結束（絆）の下で積極的に取り組み、それぞれが下山を良くするために意気込み（プロジェクト）を持って協力していける下山地区を目指します。

私たちができること・していきたいこと

① 地域のよさを知り、人を呼び込もう！

下山地区の魅力を更に高めるために、環境美化活動や、景観の保全活動などを推進しましょう。また、他地区の人に、下山の住みやすさを宣伝したり、地区の魅力的なスポットを紹介したりするなど、地区の魅力のPRを進めましょう。

② 笑顔のあふれる居心地のよいまちをつくらう！

子どもを持つ保護者が安心して働くことができるよう、放課後の子どもの居場所づくりを進めましょう。また、交流館、地区の集会所等の既存施設を活用し、子どもも含めた多世代の人が世代を超えて交流ができる場所を充実しましょう。これらの取組により、何でも話せる場所・人をつくることで、子育てしやすい体制をみんなで築き上げましょう。

③ 地域の活動を充実させよう！

みんなで誘いあって地域の活動に参加しましょう。さらに、高齢者から若者までみんなで協力して地域の活動をつくり上げ、誰もが“見てみたい、行ってみたい”と感じられるような企画を進めましょう。

④ 絆を感じることで、あたたかいまちをつくらう！

まず自分から、何らかの手助けを求める人に対して積極的に支援しましょう。また、自分が困った時は、周囲の人に手助けを求めましょう。そして助けてもらった時は感謝の気持ちを伝え、助け合いの好循環を活性化させることで、誰もが助け上手・助けられ上手になり、地区内に相談できる“場所”や“人”を増やしましょう。このような取組を通じ、住民同士が元気よくあいさつできる、地区内の住民が助け合え、高齢になっても安心して暮らすことができる地域をつくりましょう。



どんな人でも、ありのままの笑顔になれるまちへ



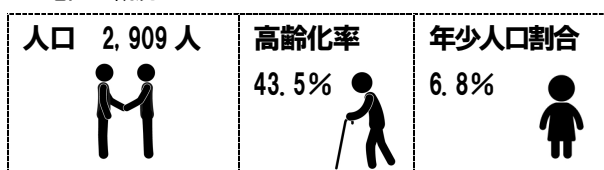
旭地区

地区の概況

旭地区は、市内の東北部に位置し、標高 100m～650mの中山間地であり、全国水の里百選にも選ばれた清流矢作川の水と緑の美しい山河に囲まれた地区で、四季折々に見せるその景色は、人々に癒しと大きな感動を与えます。旭には伝統に根づいた行事が多く、市街からも大勢の方が訪れ、盛大に行われています。

また、豊田市内で最も高齢化が進む平均年齢 56 歳の地区ですが、農林業に携わりながら生きがいと役割を持って活動する元気なお年寄りが多い、隣人愛のある温かい地区です。

■地区の概況



平成 26 年 10 月 1 日

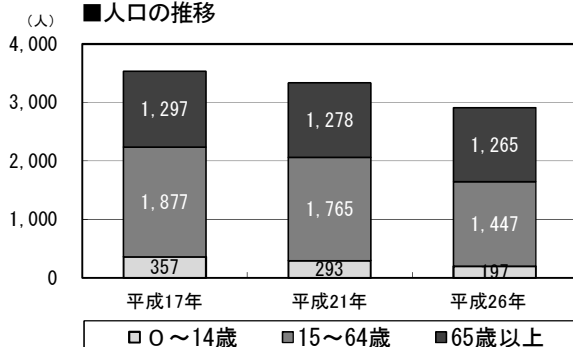
地区の現状・課題

地区の自慢できるところ

- 隣近所同士のつながりが強く、声かけ運動や地区によっては緊急時連絡先情報カードなどで、住民相互で見守りや支え合い活動に取り組んでいます。
- 自然が豊かで空気や水もきれいであり、農作物が美味しく、山菜なども豊富です。
- 棒の手、歌舞伎、^{おど}小渡天王祭など伝統行事が受け継がれているとともに、平成 15 年から町おこしで始まった「夢かけ風鈴まつり」など新たな行事も定着しています。
- 元気で温かいお年寄りが多く、地域で積極的に活動しており、市内において介護サービス利用者の平均年齢が高い地区です。
- 自治区防災マップづくりなどを通して、住民の防災意識も高まっています。



■人口の推移



地区の困りごと

- 若者、子どもの減少により、農業後継者不足で耕作放棄地の増加、自治区・消防団など地域の組織活動の衰退や伝統文化の伝承を担う人の不足などの問題があります。
- 高齢で、閉じこもりがちなお年寄りの生きがい活動の場として、「地域ふれあいサロン」や「はつらつ教室」などを展開していますが、お年寄りが増える中、活動メニューが必ずしも十分とは言えません。
- 地域バスの運行や移動販売車の巡回など日常生活（通院や買い物等）の手立てが講じられていますが、利便性を考慮すると、必ずしも地域住民のニーズに適ったものとは言えません。
- 食卓を囲む家族の減少などにより、疎かになりがちなお食の充実（体に良いものを美味しく食べることができる環境）が必要です。
- 特別養護老人ホームや介護老人保健施設など宿泊できる福祉施設が地区内になく、社会資源が不足しています。
- 要介護状態の人が増える中、見守りや声掛け等の互助の仕組みが益々必要となっています。
- 山間部は、家同士が離れていたり、人口が少なかったりと、福祉サービス提供側から見ると効率が悪い状況です。

笑顔と支えあいのまち ぬくとい旭

お互いを思い合い、支え合っていくという地域の良さを持続させ、住民が笑顔で、安全・安心に暮らすことのできる「ぬくとい旭」を目指します。

※ぬくとい……この地域の方言で、「温かい、思いやりといたわりの心がある」という意味です。

私たちができること・していきたいこと

① 高齢者の生きがいをづくりを推進しよう！

地域ふれあいサロンの推進、おしゃべりカフェぬくもりの開設、旭地区老人クラブの活動支援など高齢者の生きがいの場づくりを進めていきます。

農業を生きがいとしているお年寄りも多く、農ある暮らしに関心を持つ都市住民との交流を進め、美味しい米づくりの伝承など、農業を通じての生きがいを推進します。

お年寄りと子どもとの交流は、生きがいをづくりと情操教育で相乗効果があります。関係機関（学校・こども園など）や関係団体と協議して、有効的なプログラムを検討し、提案します。

② 住民相互の見守り・支え合い活動を展開し安全・安心なまちにしよう！

旭地域会議が中心となり取りまとめた「旭地区まちづくり計画」（旭ビジョン&集落ビジョン）に基づく、地域予算提案事業「あさひ高齢者見守り事業」と連動し、地域住民が主体となった安全・安心な町づくりを推進します。

③ 「食」の充実で健康づくりを推進しよう！

旭地区では、新鮮で美味しい野菜やお米がたくさん収穫されます。地元の農作物を活かした料理教室の開催など地産地食による健康づくりを推進します。また、ひとり暮らしのお年寄りで、疎かになりがちな「食」について、「楽しく、美味しく、栄養を考慮したものを食べる」ことができる会食会や高齢者ホームステイなどの有効なプログラムを検討し、提案します。

④ 災害時に備えて減災活動及び災害時に援護を必要とする人の避難対策を推進しよう！

地震・水害等の災害に備えるとともに、地域のお年寄りや障がい者の方など災害時に援護を必要とする方の安全を守るために、平常時より避難のタイミングや避難方法、避難場所等を組・町内会で話し合い、情報の共有を図りながら、対策を進めます。

また、防災・減災の啓発活動を自治区、組・町内会、地域のボランティア等と連携し推進していきます。

⑤ 公共交通の利便性を高めよう！

地区内には、公共交通機関としておいでんバスと地域バス（定期・予約）が運行していますが、発着時刻や停留所等について不便な点もあります。バス利用に関するニーズ調査を行い、要望に沿って地域住民の利便性を高めるための方策を検討し、提案します。

⑥ 福祉特派員制度を創設しよう！

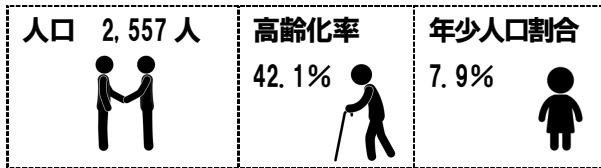
旭地区唯一の福祉拠点である「ぬくもりの里」と地域住民とのパイプ役とし「福祉特派員制度」を創設し、地域の住民が抱える、例えば、子どもの虐待やひとり暮らしのお年寄りの不安や悩みなど、日常の生活課題が速やかに解消できる体制づくりを確立します。

稲武地区

地区の概況

稲武地区は、豊田市の北東に位置し、長野県、岐阜県に隣接しています。地区の一部には天竜奥三河・愛知高原国定公園に指定された地域を含んでおり、山林が多くを占める、自然豊かな地区です。

■地区の概況



平成 26 年 10 月 1 日

地区の現状・課題

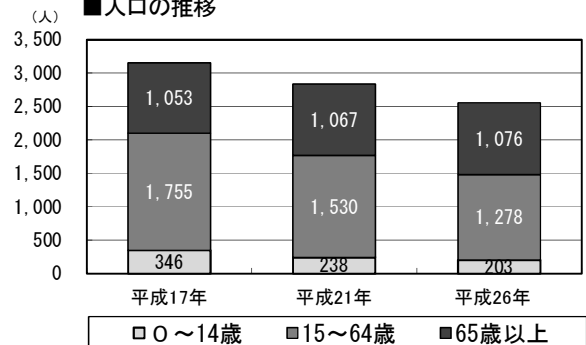
地区の自慢できるところ

- みんなが顔見知りで、地域内に互助の精神が息づいています。お互いに見守り合っており、つながりが強い地区です。
- 農作業などが健康づくりにも寄与しており、高齢者が元気でいきいきと活動しています。
- 子どもは少人数であり、勉強や部活動に集中できる環境があります。地区の人々が子どもを大切に見守っています。
- 空気や水、野菜などが美味しく、また緑や星空なども美しく、癒やされる環境です。
- 福祉、医療サービスが充実しており、上下水道も完備されて、万一の時のため、ヘリポートも設けられました。安心して暮らせる環境になっています。
- 方言が生きており、人形浄瑠璃などの文化が継承され、文化と歴史にあふれています。

<稲武小学校、稲武中学校からの意見>

- 自然が豊かで、山や川、雪などいろんなところで遊べる環境が身近にあります。
- 子どもの人数が少なく、みんな顔見知りでお互いに思いやりあっています。

■人口の推移



地区の困りごと

- 介護が必要になった場合や、体が動かなくなってしまった場合、家族がいなくなってしまった場合など、老後の生活に不安を感じる人が多くなっています。
- 子どもが少なくなっており、伝統文化の継承や存続が難しくなっています。
- 空き家の増加や、耕作放棄地の増加、買い物できる商店の減少など、住民が減っていることで、様々な問題が出てきています。消防団などの地域組織・団体の存続も危ぶまれます。
- 冬の寒さが厳しく、雪が多い地域ですが、雪かきできない高齢者が増えていきます。

<稲武小学校、稲武中学校からの意見>

- 台風や土砂崩れ、川の増水、大雪など、自然災害によって危険な時があります。
- 少子高齢化、過疎化が進んでいて、未来を担う子どもが減っています。
- 地区に商店や病院が少なくなっています。高校への通学や買い物などが不便です。

古きを守り、新しきものを取り入れ つなぐまちづくり ～自立した稲武を目指して～

歴史を守り、育て、受け継いできた先人たちの思いを大切にするとともに、次代を担う若い世代の声も取り入れながら、全住民が“私たちの住む地域のため”に稲武力を発揮できるまちを目指します。

私たちができること・していきたいこと

① 稲武に人を呼び戻そう！

稲武地区の良さをPRしたり、地区内の空き家や田畑を活用し、稲武地区での暮らしに付加価値を付けたりすることで、地区内への居住誘導を進めましょう。また、地区一丸となって取組を進められるよう、地区内の団結を更に強め、みんなで地域づくりの機運を盛り上げましょう。

② 身近な人への声かけ、目配りをして「おせんしょ」になろう！

近所に住む高齢者や障がい者、子育て中の保護者などに、積極的に声かけや訪問をしましょう。地域活動へ参加し、また地域組織の役員なども積極的に引き受け、自分から行動することで地域を元気にしていきましょう。

③ 多世代交流を進めよう！

多世代の交流を進めながら、子どもたちが楽しんで参加できるような伝統文化の継承活動を進めましょう。また、地域内の様々な人が参加できる運動会などのイベントを開催し、コミュニケーションを図りましょう。

④ 地域の情報を共有するとともに、有効に活用しよう！

市や社会福祉協議会からの情報を地域内で共有するための効果的な仕組みをつくりましょう。また、地域内で課題や情報の共有ができる機会を持ちましょう。



